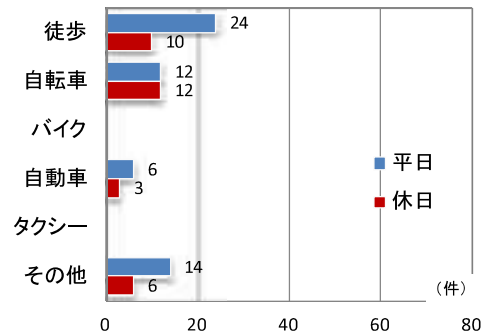


3. バス停までの交通手段

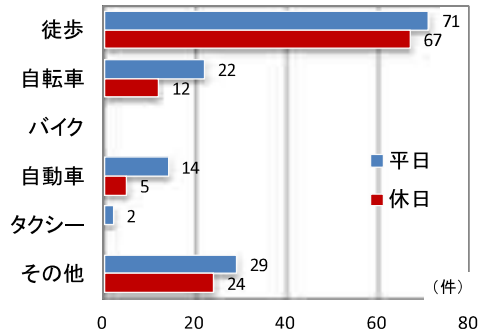
すべての路線で、バス停までは「徒歩」で行く人が多くなっています。

名阪近鉄バス、海津羽島線では「自転車」や「自動車」、「その他（バス、電車、送迎）」もみられます。

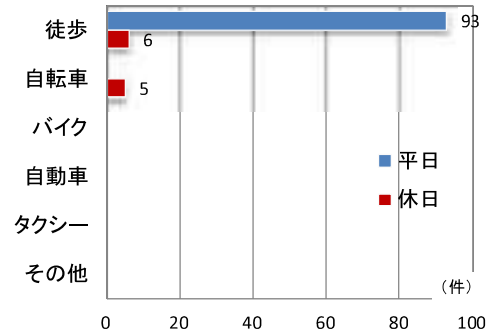
名阪近鉄バス



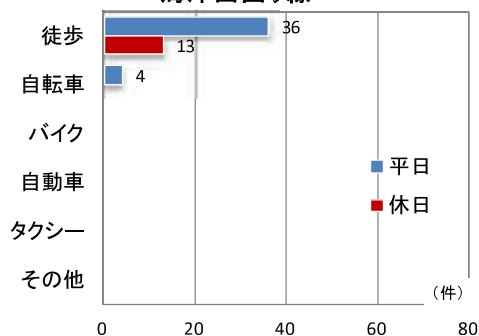
海津羽島線



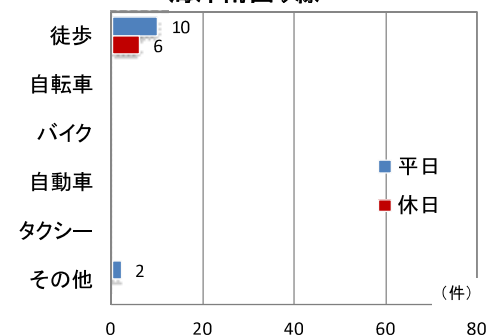
海津東回り線



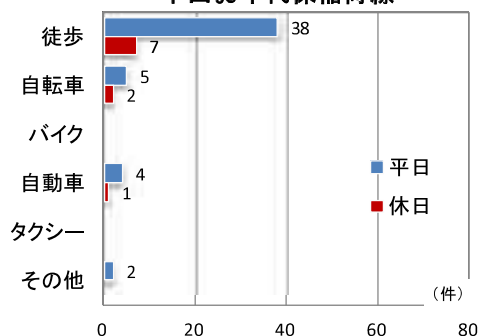
海津西回り線



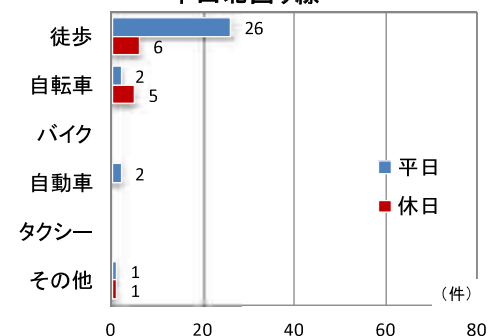
海津南回り線



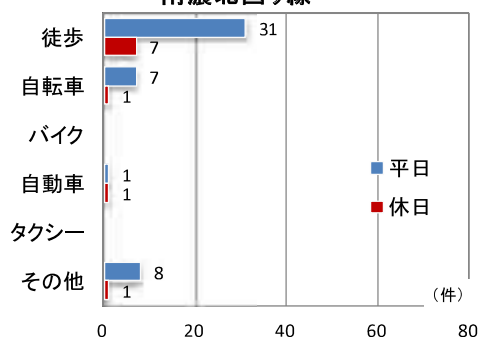
平田お千代保稲荷線



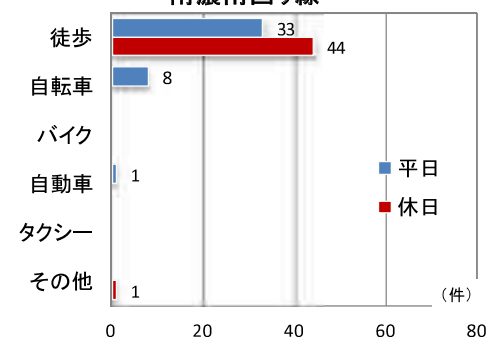
平田北回り線



南濃北回り線



南濃南回り線



$$\text{満足度} = (\frac{\text{回答者数}}{\text{回答者数}} \times 100 + \frac{\text{回答者数}}{\text{回答者数}} \times 50 - \frac{\text{回答者数}}{\text{回答者数}} \times 50 - \frac{\text{回答者数}}{\text{回答者数}} \times 100) \div \text{回答者数}$$

※全員が「大変満足」と回答した場合、満足度は100となります。

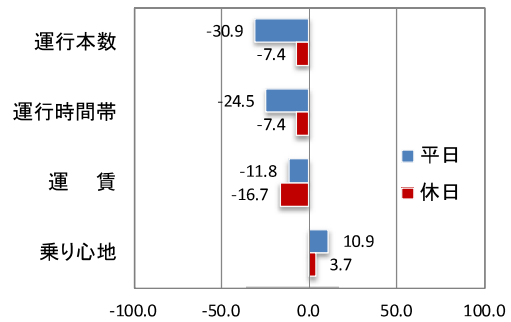
7. 利用するバスの満足度

海津東回り線、海津西回り線、海津南回り線、平田北回り線では、いずれの項目も満足度が高くなっています。

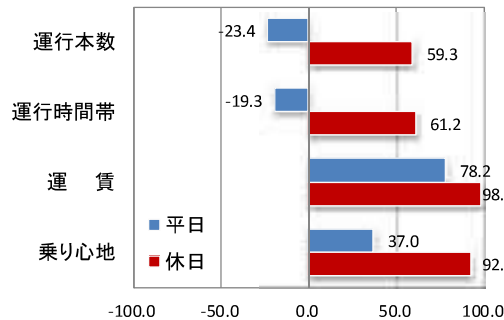
海津羽島線、平田お千代保稲荷線、南濃北回り線では、平日の「運行本数」「運行時間帯」で不満がみられます。

名阪近鉄バス、南濃南回り線では、平日・休日ともに「運行本数」「運行時間帯」などで不満がみられます。

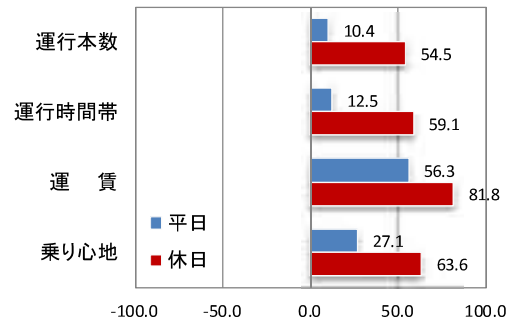
名阪近鉄バス



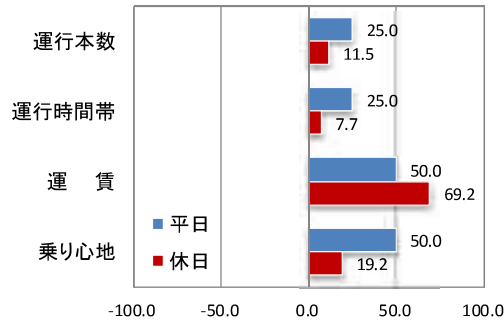
海津羽島線



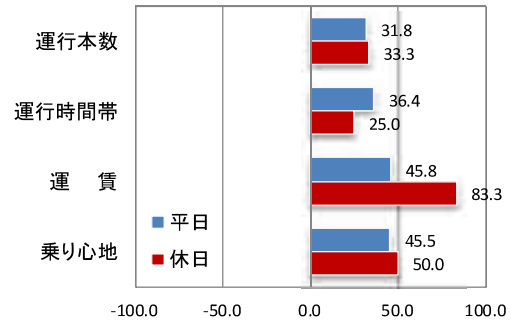
海津東回り線



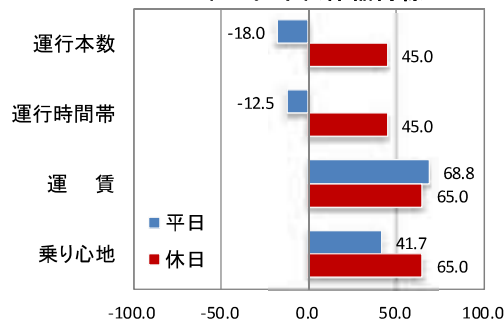
海津西回り線



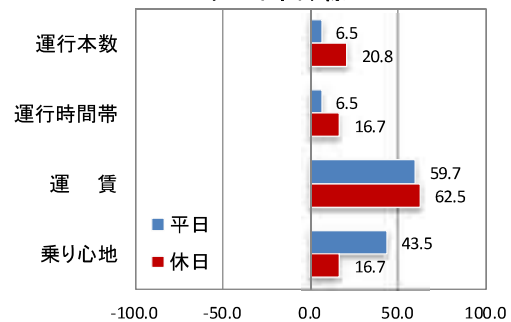
海津南回り線



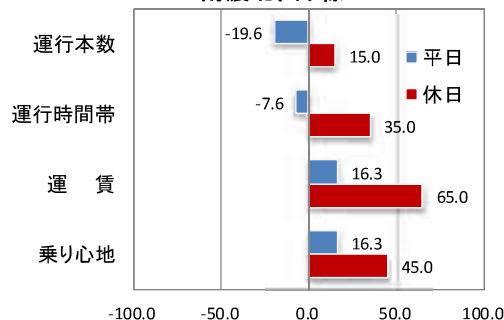
平田お千代保稲荷線



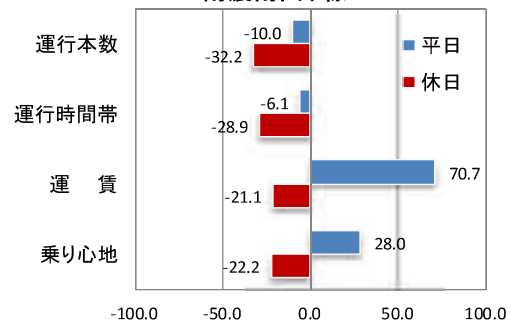
平田北回り線



南濃北回り線



南濃南回り線



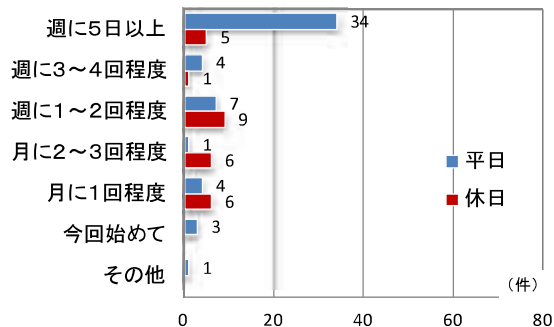
6. バスの利用頻度

バスの利用頻度は、「週5日以上」利用する人が多くなっています。

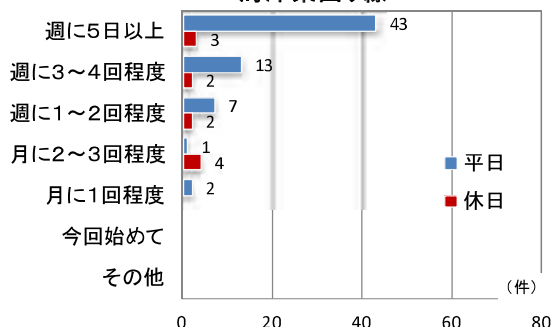
海津羽島線では、平日・休日ともに、「今回はじめて」「月に1回程度」「週に1～2回程度」の利用頻度の人も他の路線に比べて多くみられます。

南濃南回り線では、休日も含め「週5日以上」利用する人が多くなっています。

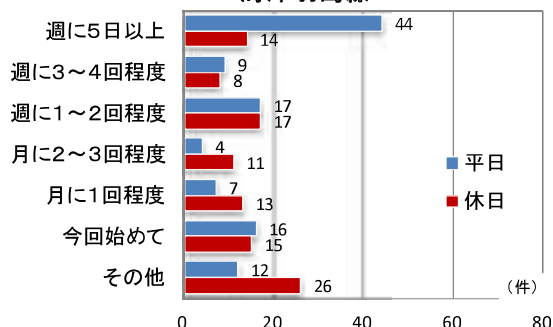
名阪近鉄バス



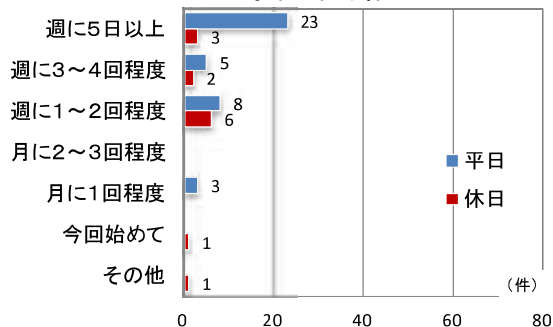
海津東回り線



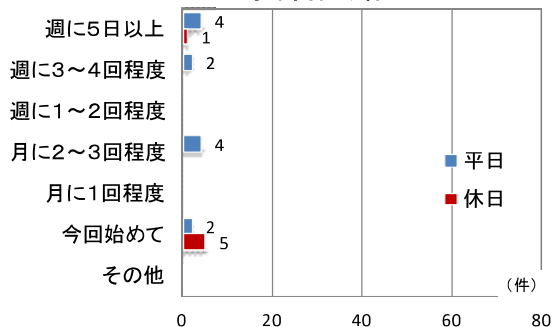
海津羽島線



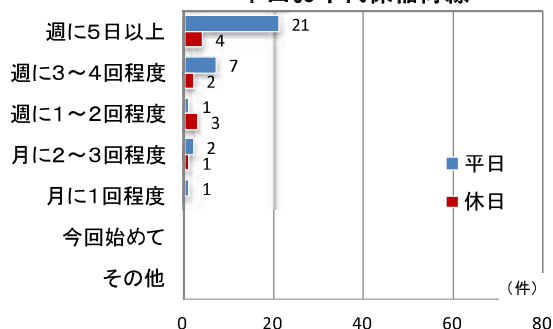
海津西回り線



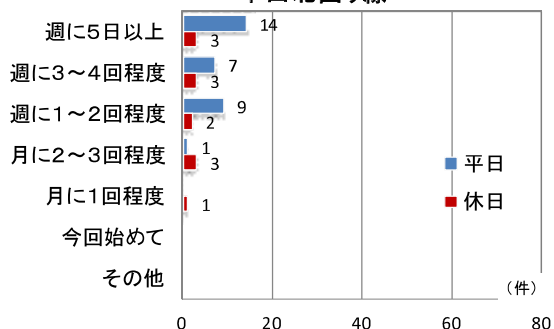
海津南回り線



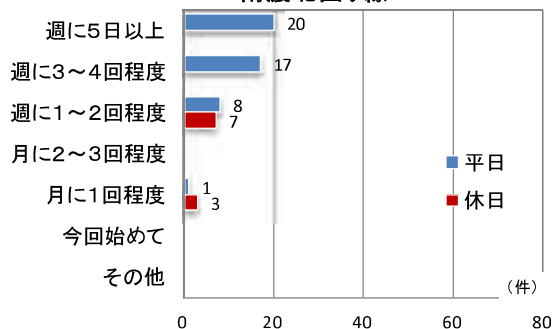
平田お千代保稲荷線



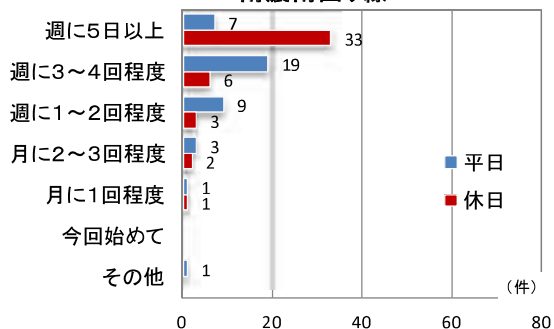
平田北回り線



南濃北回り線



南濃南回り線



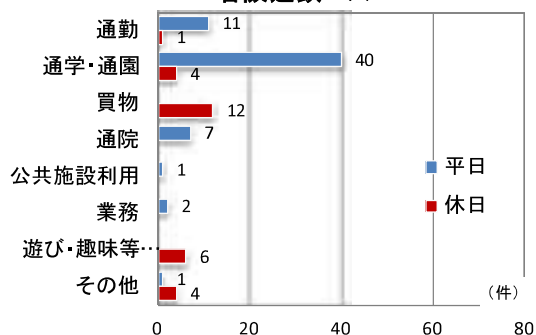
5. バスの利用目的

バスを利用する目的は、平日は、すべての路線で「通学・通園」が多くなっています。

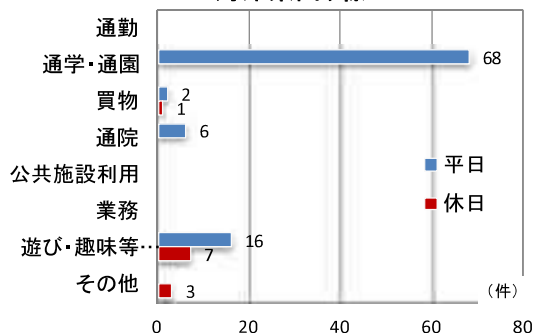
海津羽島線、南濃南回り線では、平日・休日ともに「遊び・趣味（温泉等）」を目的としたバス利用も多くなっています。

平日の各路線では「通院」を目的として、バスを利用する人もみられます。

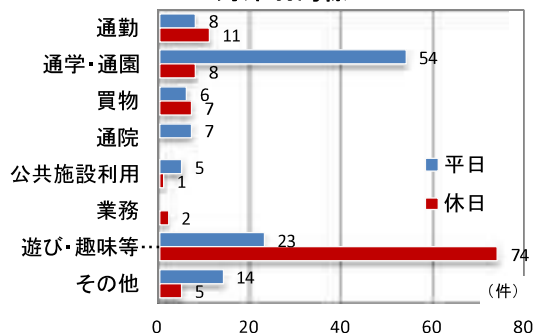
名阪近鉄バス



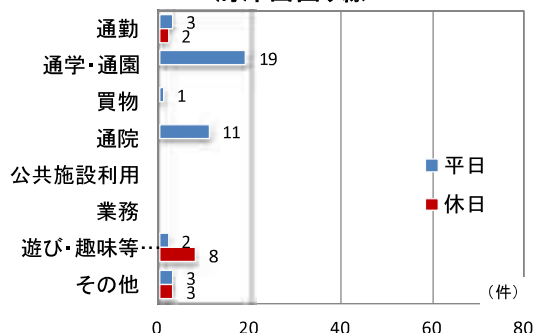
海津東回り線



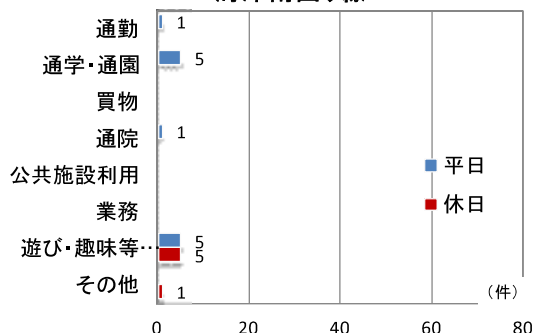
海津羽島線



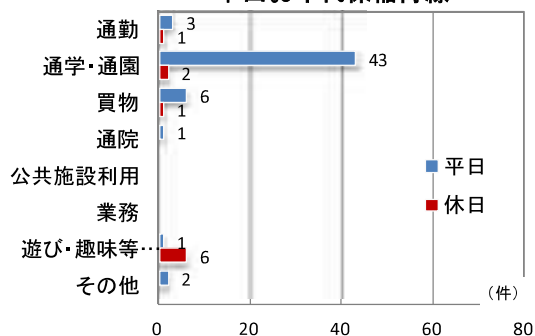
海津西回り線



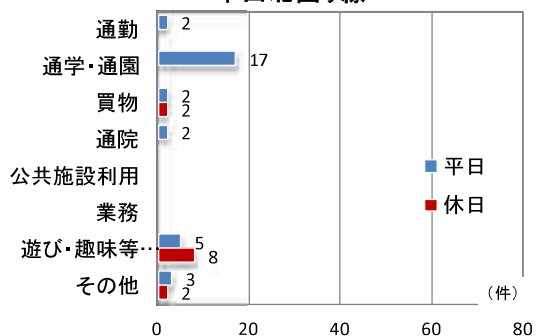
海津南回り線



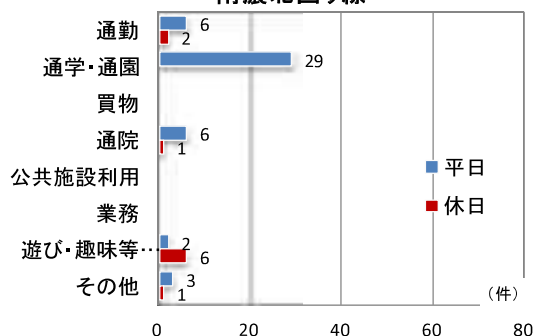
平田お千代保稲荷線



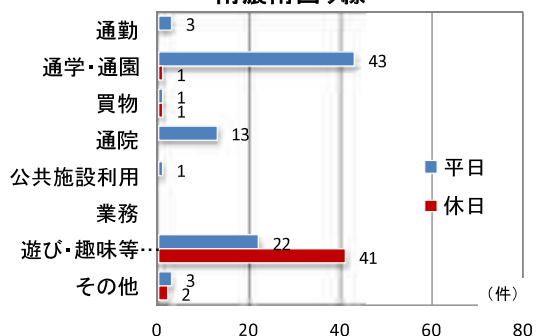
平田北回り線



南濃北回り線



南濃南回り線



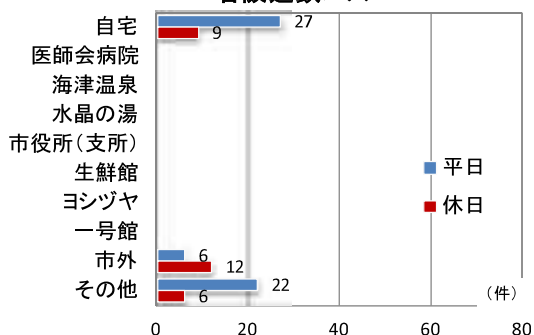
4. バスを降りたあとの行先（最終目的地）

すべての路線で、バスを降りたあとは「自宅」や「その他（学校）」へ行く人が多くなっています。

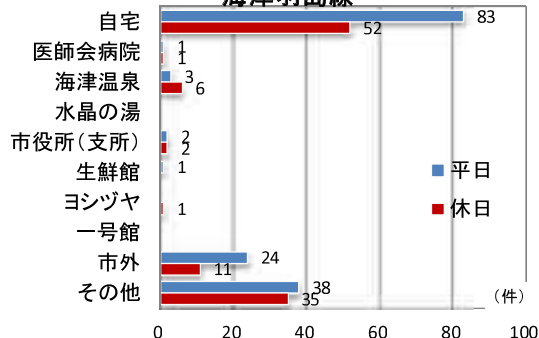
海津羽島線では、平日・休日ともに「その他（お千代保稲荷）」へ行く人が多くなっています。

南濃南回り線では、平日・休日ともに「海津温泉」へ行く人が多くなっています。

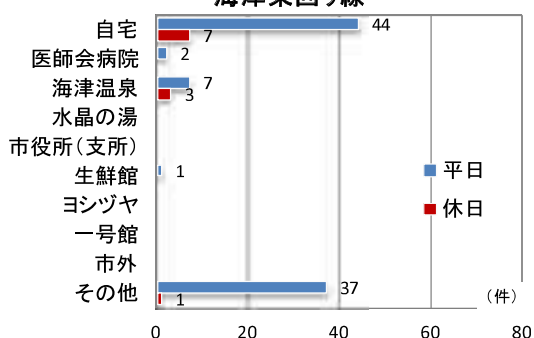
名阪近鉄バス



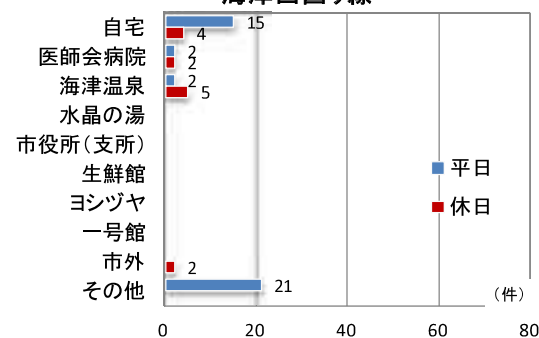
海津羽島線



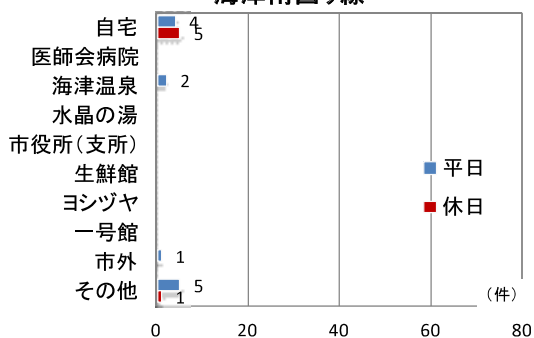
海津東回り線



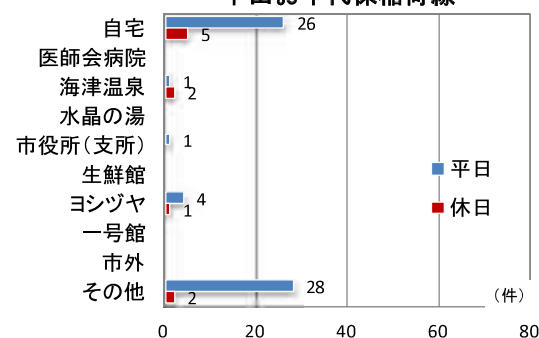
海津西回り線



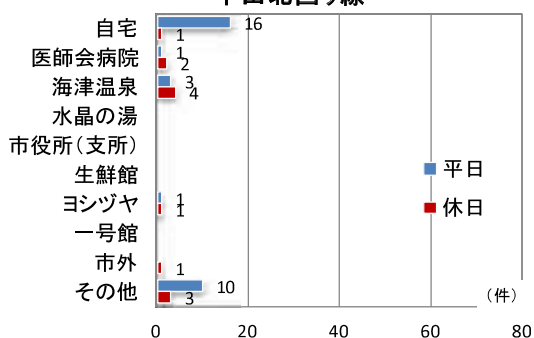
海津南回り線



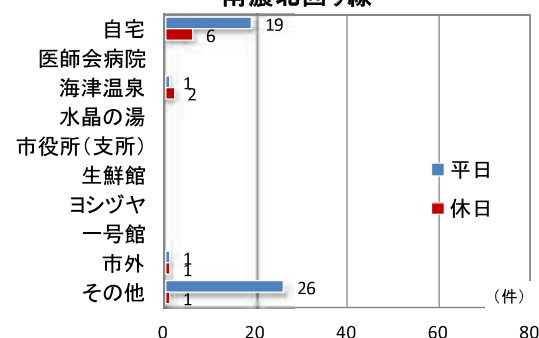
平田お千代保稲荷線



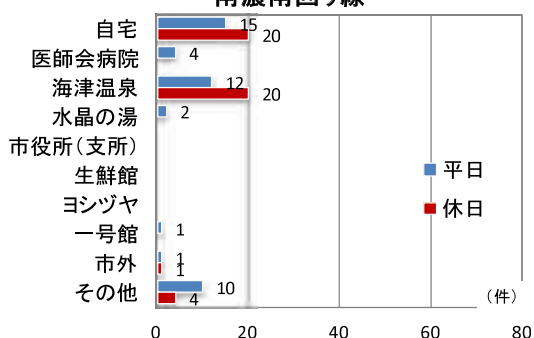
平田北回り線



南濃北回り線



南濃南回り線



2-4 自由意見

乗客へのヒアリングによる意見を下表に整理します。

各路線とも、平日・休日の運行便数の増便、運行時間帯の拡大の意見が多く、他には、養老鉄道との接続をよくしてほしい、朝は車両が小さくて窮屈などの意見がありました。

路 線	意 見
名阪近鉄バス	・ 運賃が高い。安くしてほしい。【4 件】 ・ バスの本数を増やして。【2 件】 ・ 大垣駅と結ぶバスの本数を増やしてほしい。今回初めて来たが不便だった。【2 件】 ・ 1時間に2本走らせてほしい。 ・ 朝夕の運行本数を増やしてほしい。 ・ 朝夕のダイヤを増やしてほしい。 ・ 夕方時間帯の運行本数を増やしてほしい。 ・ 夕方以降のダイヤを増やしてほしい。 ・ 15～16 時の時間帯の運行本数を増やしてほしい。 ・ 19～21 時台のダイヤを増やしてほしい。 ・ 遅い時間帯のバスがない。本数が少ないので増やしてほしい。 ・ 学生が乗る時間帯のバスの本数を増やしてほしい。 ・ 昼間のバスの本数を増やしてほしい。 ・ 休日も 7 時台のバスを運転してほしい。 ・ 休日の朝のダイヤを増やしてほしい。 ・ 高須までくる本数を増やしてほしい。大垣市民病院へ行くのも帰ってくるのも本数が少ないので不便。 ・ 高須に 8～10 時台のバスがほしい。コミュニティバスとのバス停の場所が遠くて不便。乗り継ぎが不便。 ・ 高須発のバスを増やしてほしい。通学するのに不便。 ・ 乗り遅れると待ち時間が長いので本数を増やしてほしい。会社の方の家族が大垣市民病院に通院したいが、バスの時間帯が合わないので、仕方なく近くの医院に通院していると聞いた。バスの本数が増えるといいと思う。 ・ 時間通りのダイヤで運行してほしい。 ・ 運転手さんによって停止する時、急に止まったりしてカクンカクンとなるのが嫌だから急ブレーキをなるべくかけないほしい。 ・ 養老鉄道からの乗り継ぎが良くない。もう少し最終のバスの時間を遅くしてほしい。運転手によっては酔うことがある。 ・ これから高齢化してくるので、もう少し本数を増やしてほしい。普段は車だが、運転できなくなったら困ると思う。 ・ 足が悪いためバス停まで来るのが大変。昔のように街中をバスが走るようになるとうれしい。 ・ 学生や高齢者のために、バスをなるべく継続してほしい。
海津羽島線	・ 存続してほしい。【16 件】 ・ バスの本数を増やして。【12 件】 ・ 羽島から本数を増やしてほしい。【3 件】 ・ 1時間に1本はバスを出してほしい。【2 件】 ・ 昼に本数を増やしてほしい。 ・ 7 時 30 分、9 時 30 分、海津庁舎発のバスがほしい。 ・ 7 時台の石津駅⇒岐阜羽島駅を増やしてほしい。

海津南回り線	・ 平日 19 時（大学・専門学校生）
平田お千代保稲荷線	・ 「バロー」 毎日 10 時⇔16 時（高校生） ・ 「幡長」 土日 15 時（高校生） ・ 平日 15 時（高校生） ・ 毎日 19 時（高校生） ・ 毎日 10 時、21 時（高校生） ・ 「大須～岐阜羽島駅」 土日 9 時⇔17 時
平田北回り線	・ 「羽島駅」 毎日（会社員・公務員） ・ 「きっさ さくら」 毎日 9 時⇔12 時（無職）
南濃北回り線	・ 「町北」 火金 9 時⇔11 時（無職）
南濃南回り線	・ 土・日（無職）【同様の意見 28 件】 ・ 土・日・祝日（高校生） ・ 「羽島駅」 土日、21 時（高校生） ・ 「山崎消防署バス停」 土日朝、夕方（会社員・公務員） ・ 「松山駅東」 土日、18 時（会社員・公務員） ・ 「海津温泉」 土日、14 時 52 分（無職） ・ 「南濃町グリーンホーム～医師会」 毎日 11 時⇔11 時 45 分（無職） ・ 10 時⇔14 時（無職）

（ ）は回答者の職業を示しています。

2-3 利用ニーズ

主な内容（多く意見の上がった部分）についてみると、

○名阪近鉄バス：高校生からの運行時間帯の充実、主婦や会社員からの行先

○海津羽島線：学生（高校生、大学・専門学校生）からの行先

○南濃南回線：土・日の運行充実

にかかる意見・要望が見られています。

運行してほしい場所・時間・曜日をバス路線ごとに整理すると以下の通りです。

□運行してほしい場所・時間・曜日

バス路線	運行してほしい場所、時間、利用したい曜日
<u>名阪近鉄バス</u>	・7時、16時（高校生） ・10時、22時（高校生） ・15時、16時（高校生） ・16時（高校生） ・土日6時（高校生） ・「大垣駅～市役所」（会社員・公務員） ・19時、21時（会社員・公務員） ・「まちなか(街の中心部)」（会社員・公務員） ・「海津～養老」金曜日の午前中～昼（会社員・公務員） ・「高須」8.9.10時、13.14.15時（主婦） ・12時⇔21.22時（主婦） ・「羽島駅」7.8時、12時（主婦） ・「津島方面」毎日（無職）
<u>海津羽島線</u>	・「今尾南」平日8時40分、17時（高校生） ・「輪之内と勝賀の間」毎日7時30分、21時（高校生） ・6時⇔20時（高校生） ・毎日22時（高校生） ・「今尾→岐阜羽島駅」平日7時（大学・専門学校生） ・「西勝賀」平日7時、18時（大学・専門学校生） ・11時（大学・専門学校生） ・毎日6時⇔21時（無職） ・海津温泉経由
<u>海津東回り線</u>	・「西島」平日16時（高校生） ・平日18時（高校生） ・毎日9時30分、11時30分（無職）
<u>海津西回り線</u>	・JR・近鉄「弥富」あたりまで（大学・専門学校生） ・「国道沿い」（会社員・公務員） ・「ヤマヒコショッピングセンター」（無職）

荷線	- もう少し本数を出してほしい。1時間に1本程度。 - これ以上、本数を減らさないで下さい。 - お千代保稲荷発海津庁舎行きの17時台のバスがあると助かる。 - 平田お千代保稲荷線で5時台を運行してほしい。 - 学校の終わる時間とバスの出発する時間を同じくらいにしてほしい。今は早い。3時50分くらいがいい。 - 最終のバスがもう少しあると良い。 - 土日も平日と同じように朝の7時台のバスを運行してほしい。石津駅から岐阜羽島駅に行くバスも8時台がほしい。 - 海津温泉行きのバスの時間、もう少し早い時間があると良い。 - バス停がもっと海明に近い所がいい。 - バスに乗り降りする時、無言の運転士さんがいる。「どうぞ」とか「ありがとう」とか言ってほしい。 - 一度バスがたくさん遅れて乗り換えが出来なくて困った。できるだけ正確に着くようにしてほしい。 - 次のバス停の名前を出すのが遅い時があるので、しっかりしてほしい。 - 海津温泉に来るといつも利用しています。孫と来る時は三川公園等へ行きます。買い物と昼食はお千代保さんへ行く事が多いです。バスの待ち時間にケルンというアイスクリーム屋さんで休憩して、奥様と親しくなり毎回訪ねます。海津市と友人と2人3人と増えてとても楽しい旅行になっています。私のストレス発散の一手段です。
平田北回り線	- 存続してほしい。【4件】 - 各時間帯とも1時間に1本は運行してほしい。【2件】 9時台の本数を増やしてほしい。 - このバスの便、朝、昼、夜にかけて1日10便ぐらい運行してほしい。 - スーパー(生鮮館)や病院(医院)にバス停をつくってほしい。本数を多くしてもらいたい。 - 温泉へ行くのに大変便利なので、この路線を廃止にしないでほしい。 朝、福岡に止まると良い。赤いバスは態度が悪い。 - 日差しの強い時、暑いし眩しいので、できたらカーテンをつけてほしいです。
南濃北回り線	特に意見なし
南濃南回り線	- バスの本数を増やして。【23件】 - バスの本数を戻して。【10件】 - 土日の増便がほしい。 - 土日の本数が少ない。 - 土日祝運休の便も平日と同じ時間にあってほしい。例えば、グリーンホーム～医師会。 - 本数を増やしてほしい。土日が少ない。 - 平日の通りにしてほしい。朝早くしてほしい。 - 水晶の湯へ行くバスがもっとほしい。 - 松山→駒野へ10時くらいを走らせてほしい。 - トンカチまで走らせてほしい。 - 温泉発15時くらいで、働く女性の家方面に希望。 1時間毎に走らせてほしい。 - 満足しております。 - 歴史民俗資料館から出してほしい。

	・寒い日は朝からバスがとまっているとうれしい。2時間に1本のバスに合わせるのが大変。1時間に1本運行してほしい。 ・学校が終わるのが15時40分なので、15時30分のバスに乗れない。2時間待たないといけないため、本数を増やしてほしい。 ・夜8時以降の便がほしい。平日朝7～9時までに1本増やしてほしい。 ・本数が少なすぎる。もっと遅い時間までバスを走らせてほしい。 ・最終をもう少し遅らせて、岐阜羽島駅着の20時台の新幹線に合わせてほしい。 ・日祝の帰りのバスがほしい。 ・海津温泉までを夜増やしてほしい。 ・北部へ行く直通便がほしい。 ・今尾の名阪近鉄バス近くにもコミュニティバスのルートをつくってほしい。 ・勝賀西までのバス停が西勝賀からだ徒歩10分程度かかるので、西勝賀にもバス停をつくってほしい。 ・学生中心の運行ダイヤはやめてほしい。仕事で乗りたくてもその時間にはほとんどバスがない。電車との接続をもう少し考えてほしい。 ・養老鉄道との乗り継ぎを良くすれば、バス利用が増えるのではないかな。 ・朝一番のバスは大きいバスにしてほしい。 ・たくさん乗る時間帯や路線には大きいバスを回してほしい。 ・朝、小さいバスのため立っている人が多すぎて危ないので、大きいバスにしてほしい。 ・今尾6時46分発岐阜羽島行のバスを利用しているが、乗車数が多いのに小さいバスが来て窮屈な思いをした。 ・先に料金を払ったが、降車口を別にしてほしい。 ・急なアクセルやブレーキがよくある。 ・乗り継ぎがあるため、ダイヤ通り正確に運行してほしい。バスが大きく揺れるところがあるのでその場所はスピードを落としてほしい。 ・バス停に危ない所があるので直してほしい。 ・自転車置場がほしい。 ・羽島線のみ満足。
海津東回り線	・バスの本数を増やして。 ・1時間に1本はほしい。 ・1時間に1本ほしい(右廻、左廻)。 ・16時台に1本ほしい。 ・北回り線が午前中に回ってもらとうとい。 ・帰りの時間のバスがほしい(18時台)。 ・海津東回り線の真ん中に1本ほしい。 ・運転手さんに良くしてもらっている。
海津西回り線	・なるべく続けてほしい。 ・本数を増やして時間も遅くまで運行してほしい。 ・夜8時台のバスを運行してほしい。 ・運行時間を遅くにも走らせてほしい。 ・札野の北回りを増やしてほしい。 ・国道沿いに走ってほしい。 ・一号館や生鮮館のスーパーの前でバスを停めてほしい。 ・バスの停留所に路線図を書いてほしい。
海津南回り線	・特に意見なし
平田お千代保稲	・バスの本数を増やして。 ・1時間に1本くらいあるといい。

3 市民ニーズ調査

3-1 調査概要

市民の日常的な交通行動、公共交通の利用状況と利用意向、費用負担についての考え方を把握し、公共交通利用のニーズ、今後のあり方等を検討するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

□調査方法等

調 査 期 間	平成 26 年 1 月 8 日（水）～1 月 24 日（金）（2 月 7 日まで回収）
調 査 対 象	海津市在住の 15 歳以上の男女 5,000 名 ・通勤、通学を考慮し 15 歳以上（高校生以上）の市民を対象。 ・配布数は、市内 10 地区ごとの集計で精度を確保するために設定（信頼度 95%で、全市集計の場合は 2 %程度の誤差）。
調 査 方 法	郵送による配布・回収
調 査 事 項	○属性：住所、年齢、免許の保有状況等 ○日常的な交通行動：目的ごとの行先、交通手段、頻度 ○潜在需要：公共交通の利用状況、利用するための条件、利用したい目的と行先 ○公共交通の維持：市の費用負担と維持の考え方 ○改善要望：自由記述
配 布 数	5,000 票（うち宛先不明が 13 票）
回収数【回収率】	2,227 票【回収率 44.5%】

□地区別配付回収状況 ※外国人を含む

	人口	世帯数	配布数	回収数	回収率
高須小学校区	6,570	2,120	876	380	43.4%
吉里小学校区	1,828	545	244	104	42.6%
東江小学校区	1,896	554	253	114	45.1%
大江小学校区	1,765	578	235	107	45.5%
西江小学校区	1,766	519	235	104	44.3%
今尾小学校区	4,846	1,502	646	230	35.6%
海西小学校区	2,859	853	381	151	39.6%
下多度小学校区	2,261	797	301	148	49.2%
城山小学校区	5,931	1,926	791	352	44.5%
石津小学校区	7,776	2,696	1,037	484	46.7%
不明	—	—	—	53	—
合計	37,498	12,090	5,000	2,227	44.5%

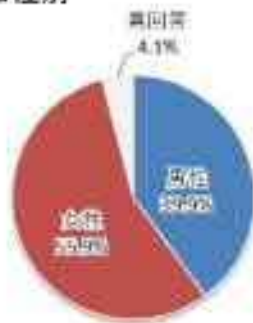
※次ページからの図中、グラフ中の数字はパーセントで、N＝とあるのは、回答数です。

3-2 回答者の属性について

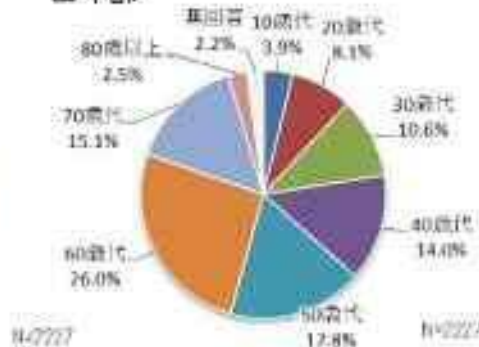
○回答頂いた方の属性は女性、50歳、60歳代が多くなっています。

○職業では無職、パート・アルバイト、専業主婦（夫）が49.1%を占めています。

□性別



□年齢



□職業



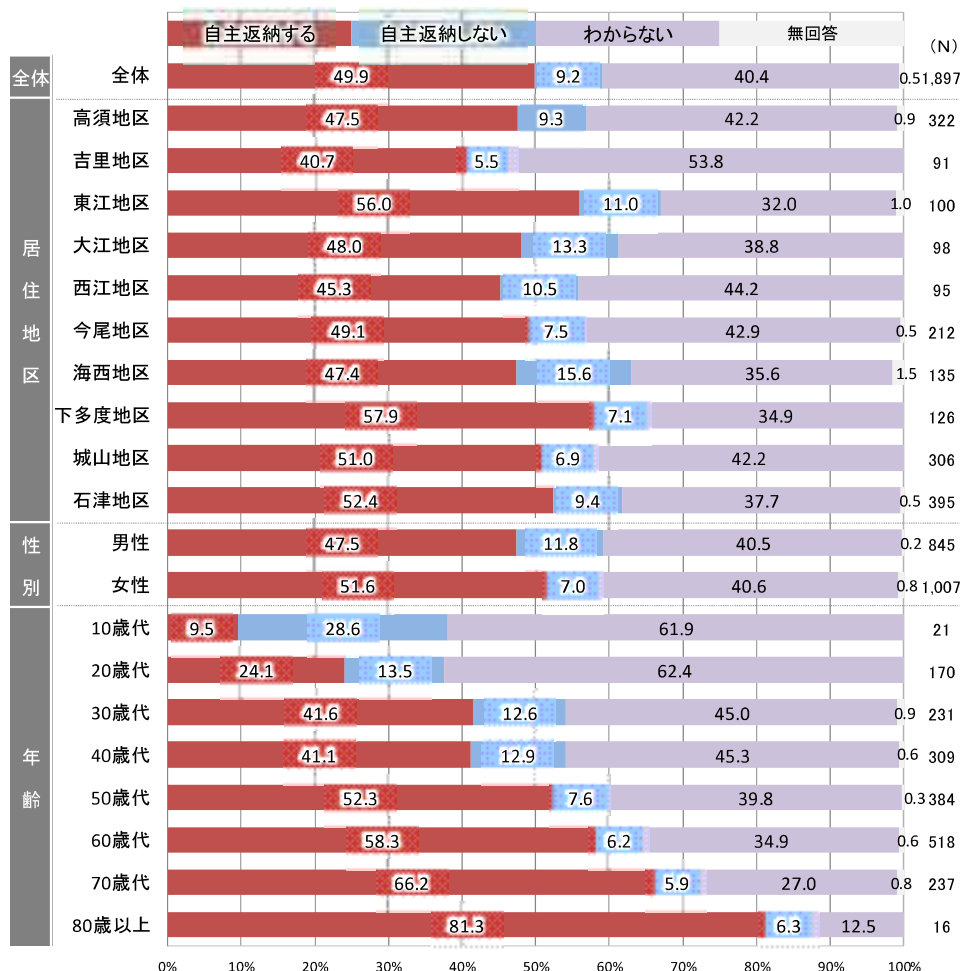
3-3 運転免許証の保有について

○免許の保有状況は、「もっていない」は13.1%、女性、70～80歳代以上が高くなっています。

○免許証を「自主返納する」が50歳以上で概ね50%を超えています、「わからない」も多くみられます。

□運転に不安を感じるようになったら、運転免許証を自主返納するか（属性別）

（自動車運転免許証を「もっている」と回答した方のみ）



3-4 外出時の主な交通手段

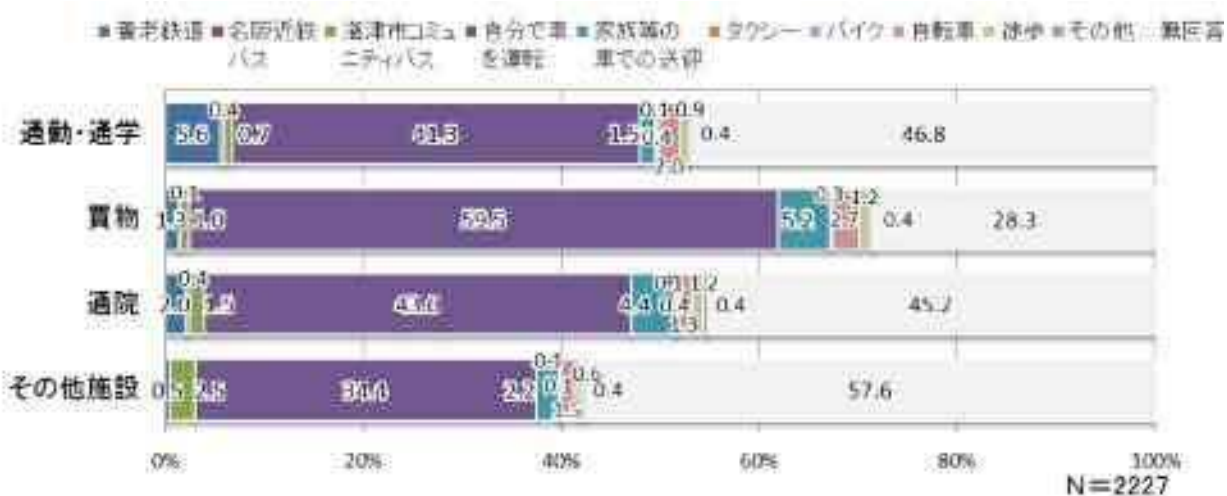
○「自分で運転」が最も多いが、公共交通機関利用でみると養老鉄道での「通勤・通学」、海津市コミュニティバスでの「通院」及び「その他の施設」が見られています。

○主な行き先は、市内への「通勤・通学」、生鮮館、ヨシヅヤ等への「買物」、医師会病院、その他市内病院への「通院」が多くなっています。

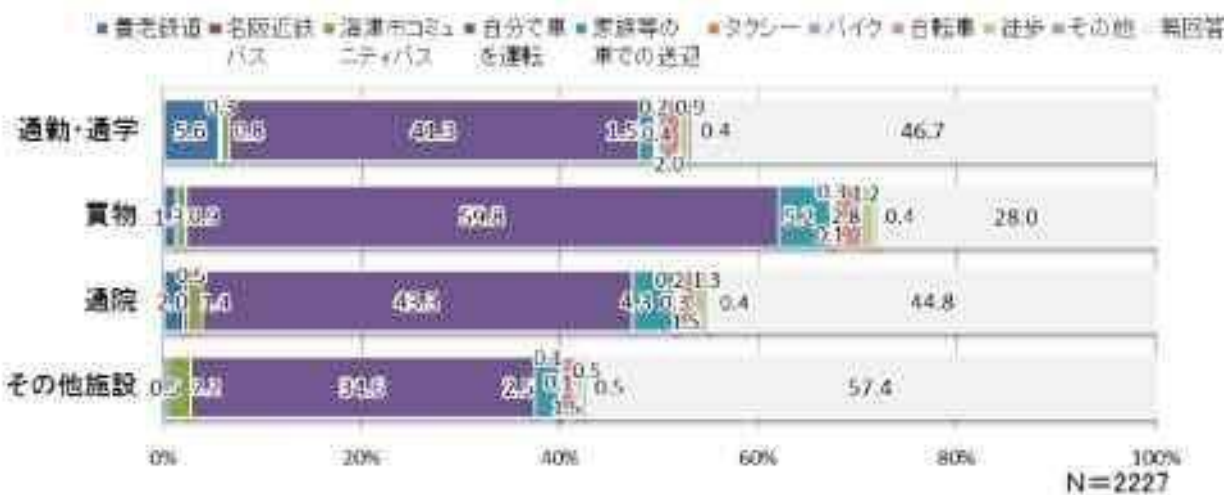
○頻度は「通勤・通学」で週に5日以上、「買物」で週に1～2日、「通院」で月に1日以下が多くなっています。

□主な交通手段

《行き》



《帰り》



□主な行き先



□外出頻度

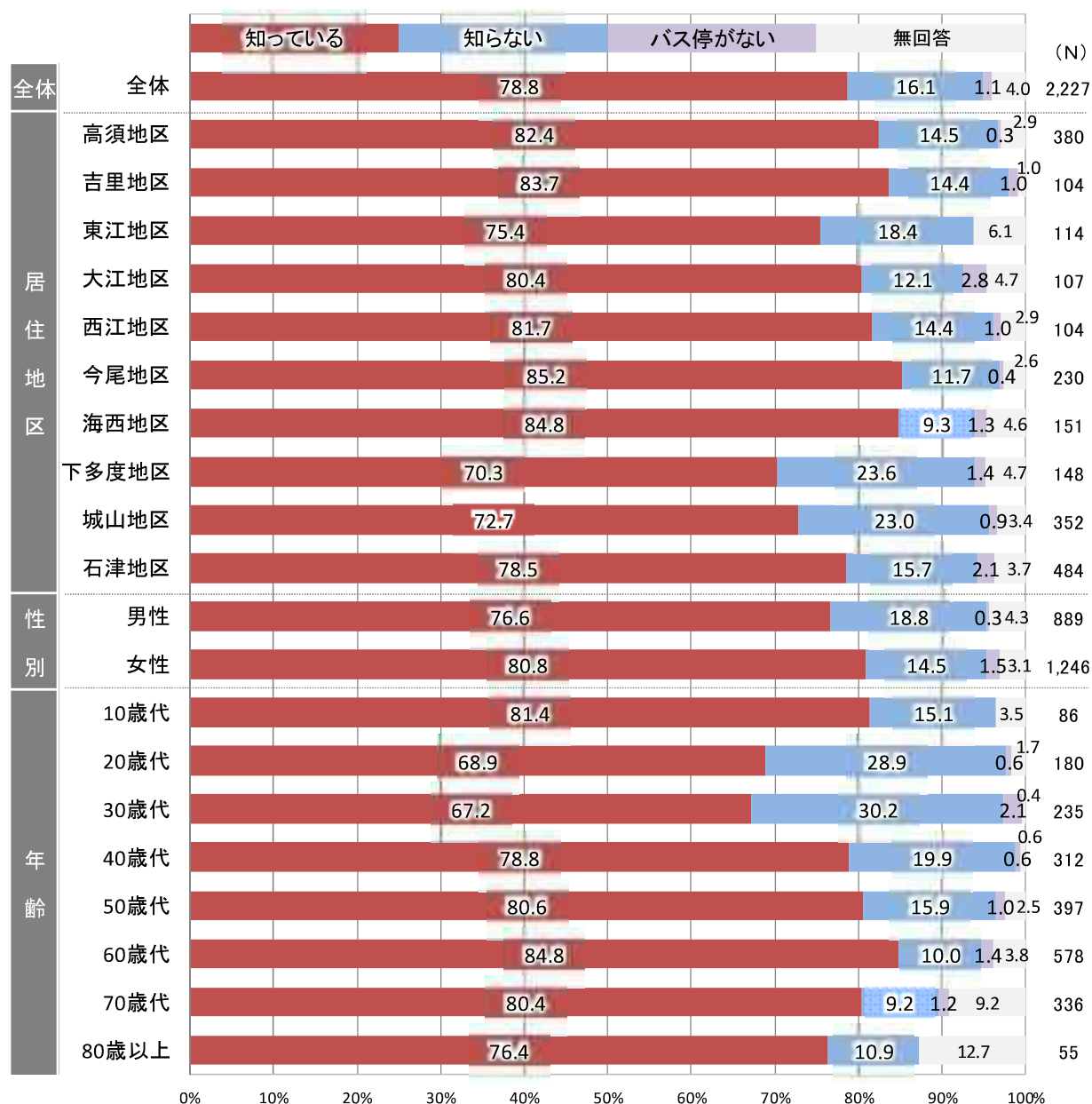


3-5 公共交通（バス）の利用について

○バス利用についてみると、最寄りのバス停は概ね認知されているものの、ほとんど利用はされていないのが実体となっています。利用しない理由として、利用したい時間帯にバスがない（17.2%）、運行本数が少ない（16.7%）の意見が多いため、運行時間、本数の充実を検討する必要があります。

□最寄りのバス停の認知度

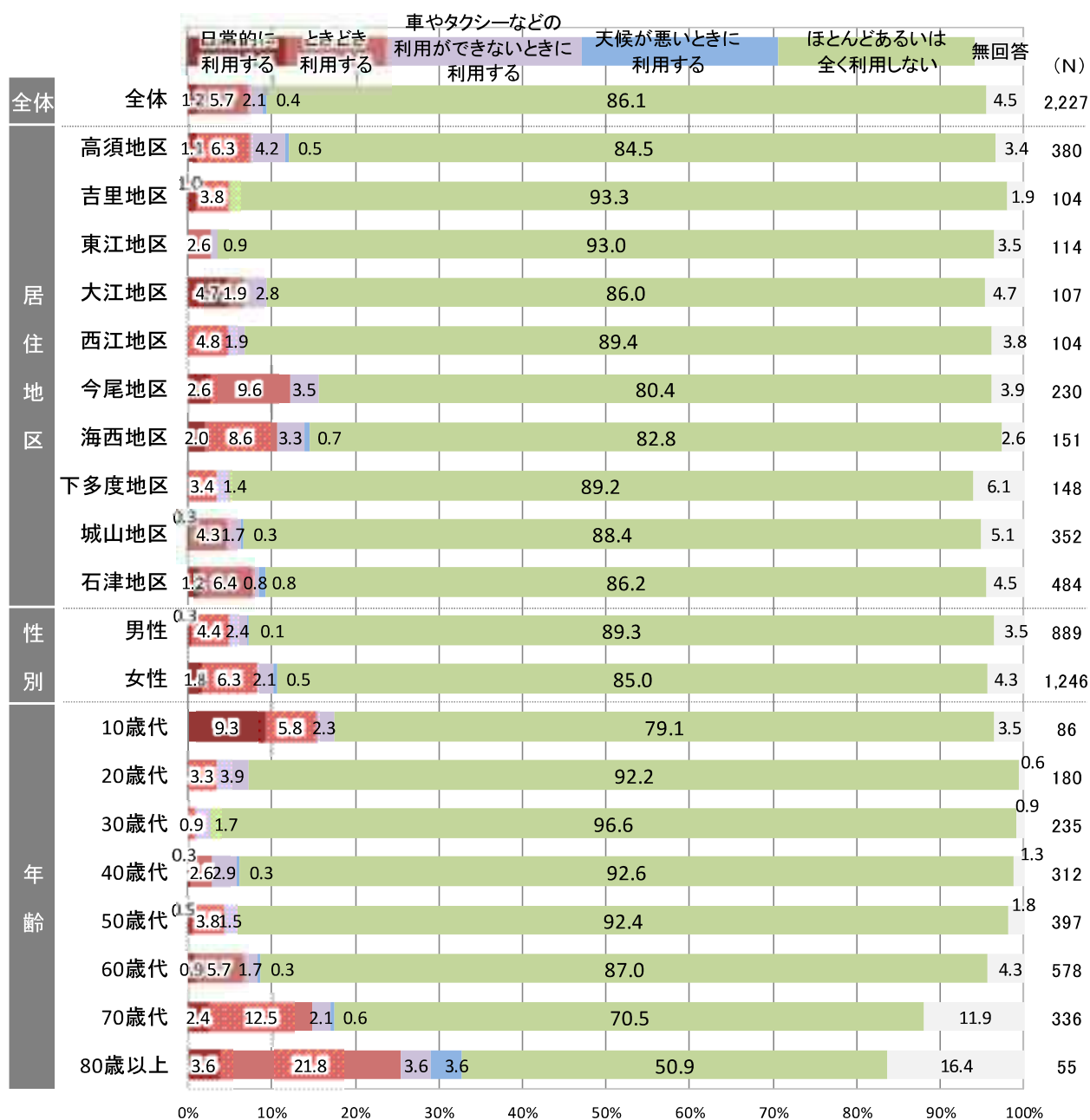
最寄りのバス停を「知っている」という回答は全体で78.8%、「知らない」は16.1%、「バス停がない」という回答も1.1%みられます。



□バスの利用状況（属性別）

バスを「ほとんどあるいは全く利用しない」が86.1%、「日常的に利用する」は1.2%、「ときどき利用する」は5.7%、「車やタクシーなどの利用ができないときに利用する」は2.1%とバスの利用率は高くありません。

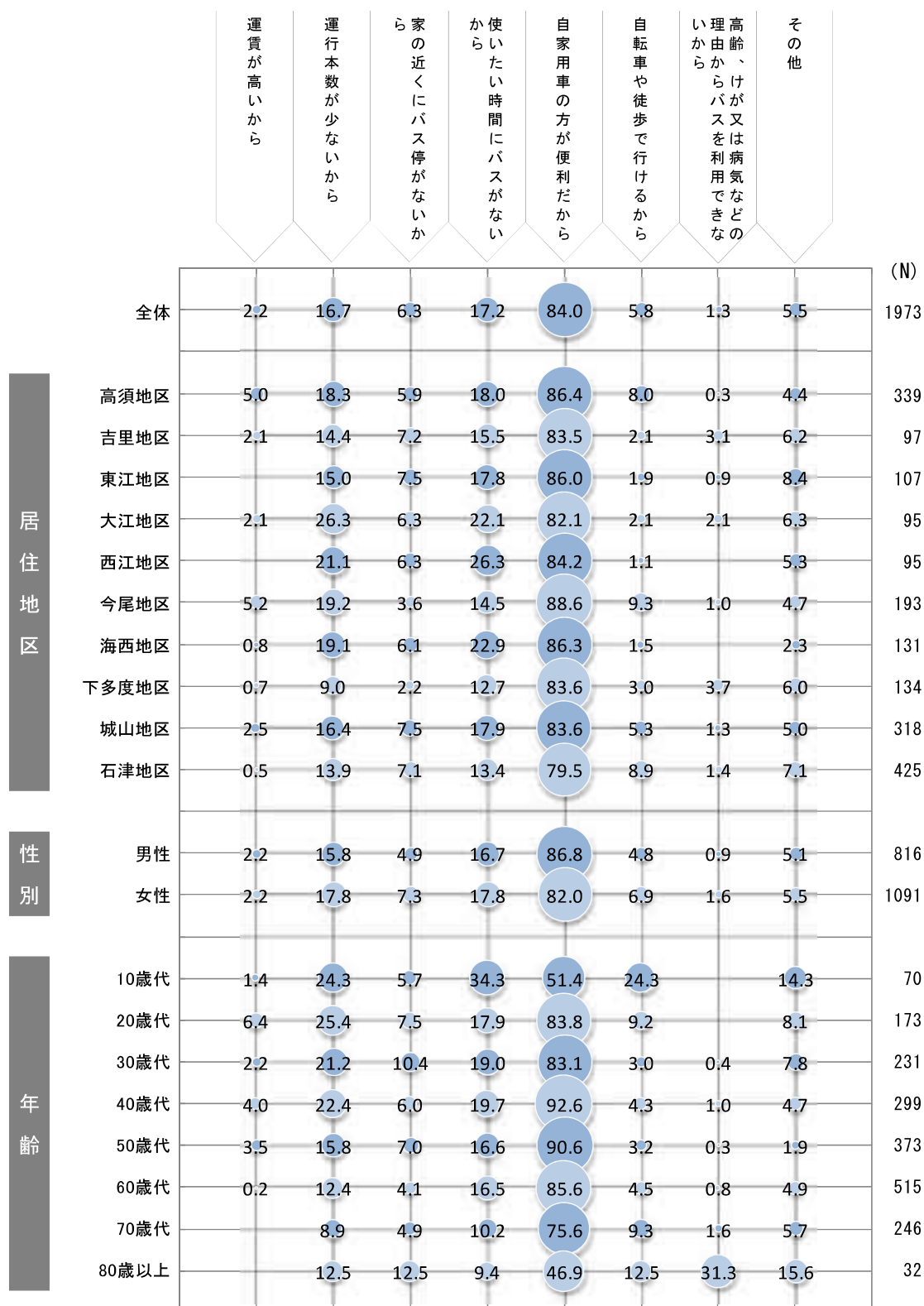
しかし、10歳代（小中学生と高校生）と70歳以上の高齢者は他の年代に比べて利用率が高くなっています。



□バスを利用しない理由（属性別）【複数回答】

（バスを「車やタクシーなどの利用ができないときに利用する」「天候が悪いときに利用する」「ほとんどあるいは全く利用しない」と回答した方のみ）

バスを利用しない理由については、「自家用車の方が便利だから」が84.0%で最も多く、次いで「使いたい時間にバスがないから」が17.2%、「運行本数が少ないから」が16.7%となっています。

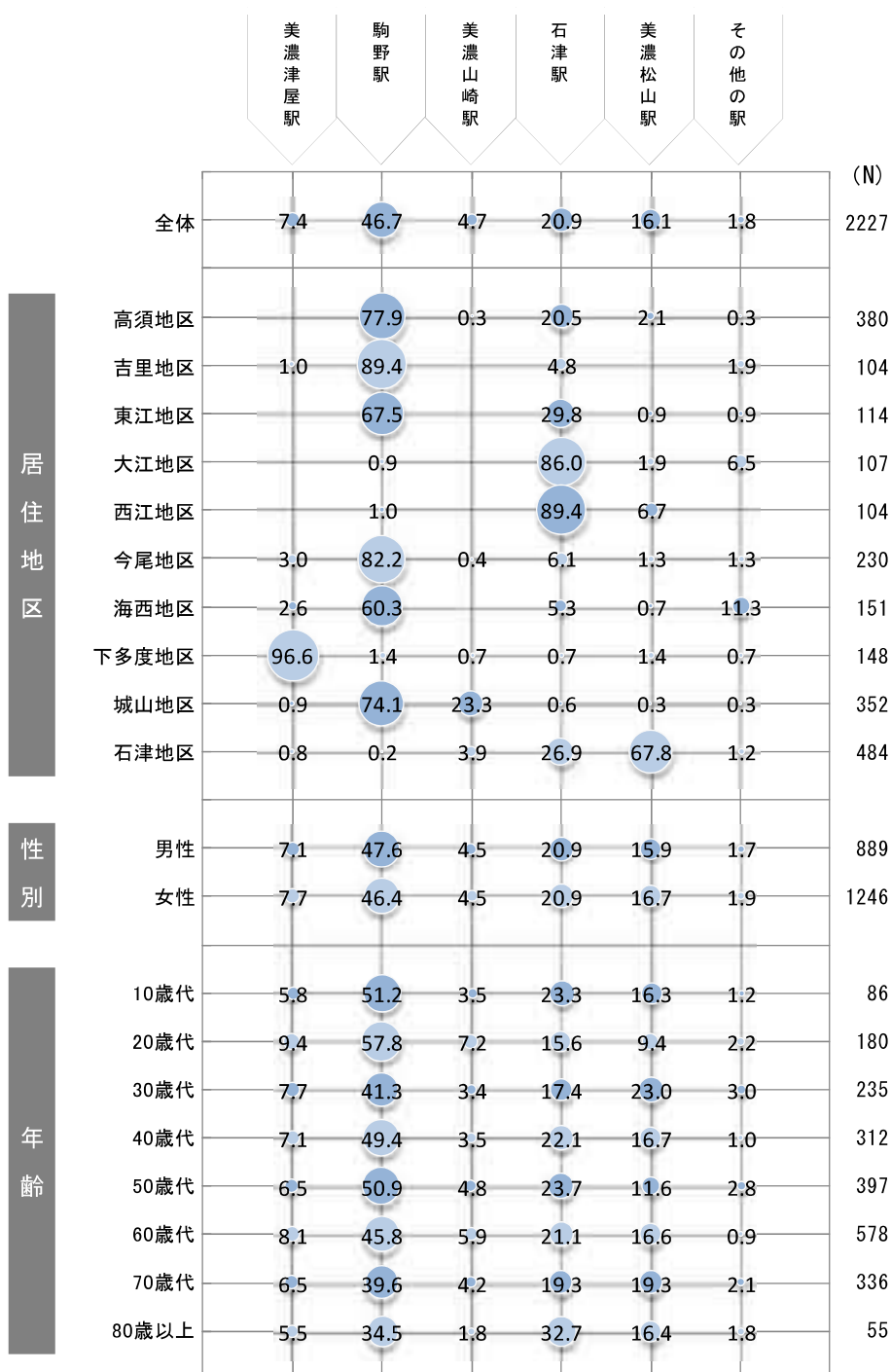


3-6 鉄道について

○養老鉄道は、10歳代（高校生等）の利用率は高い一方、全体としては日常的あるいはときどきでも利用する人（約20%）はあまりなく、ほとんど利用しない人が65.6%になっています。鉄道を利用するための条件として、駅に駐車場を整備するが最も高く、また、駅に接続するバスの充実といったところもあり、今後これらの実施により一定の利用増が見込める余地があるものと考えられます。

□利用する可能性のある養老鉄道駅（属性別）【複数回答】

利用する可能性のある養老鉄道駅としては、全体では「駒野駅」が46.7%で最も多く、次いで「石津駅」が20.9%となっています。

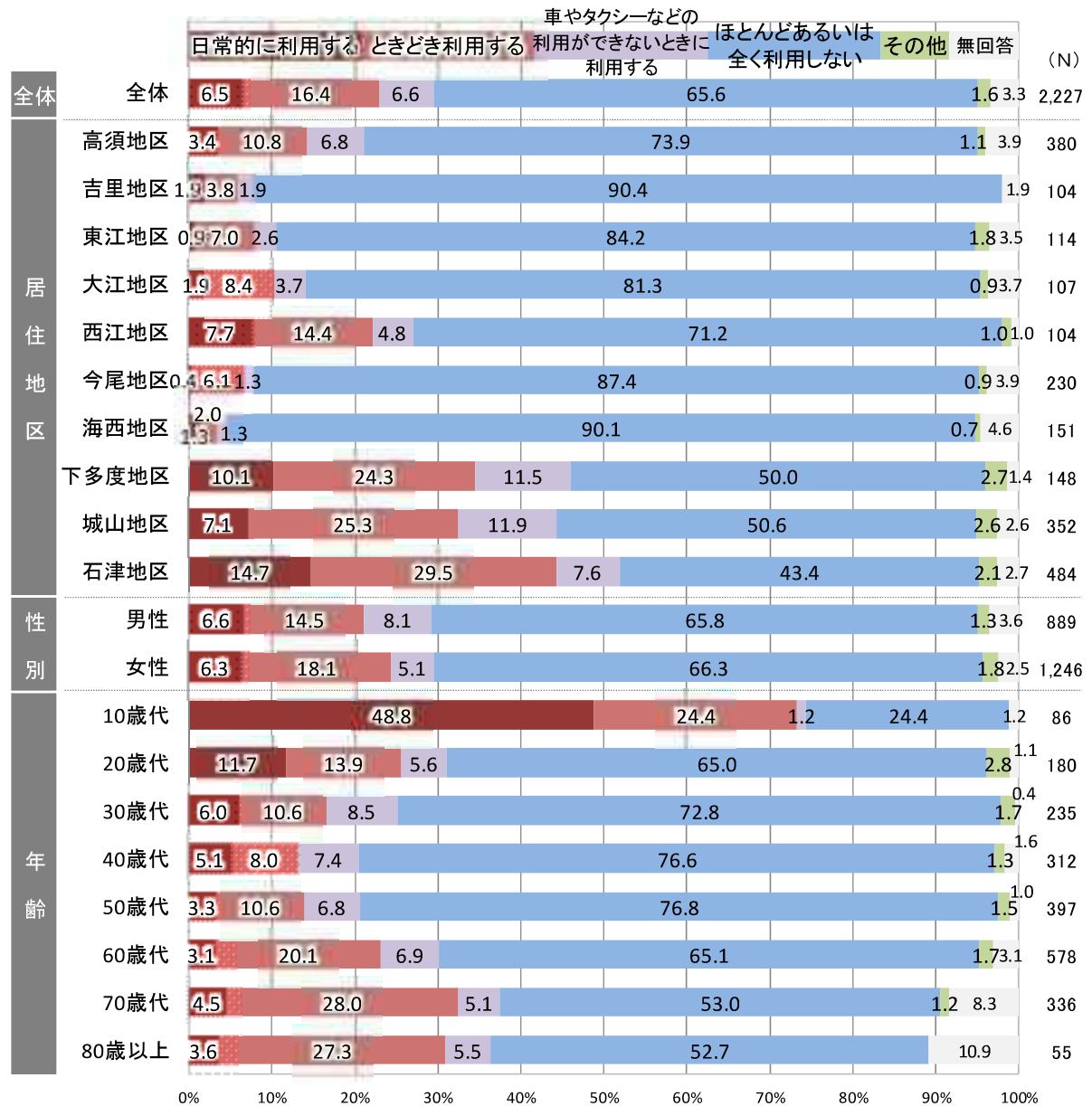


□養老鉄道の利用状況（属性別）

養老鉄道を「ほとんどあるいは全く利用しない」が 65.6%、次いで「ときどき利用する」が 16.4%となっています。

地区別では、下多度、城山、石津地区の鉄道沿線での利用率が他の地区よりも高くなっています。

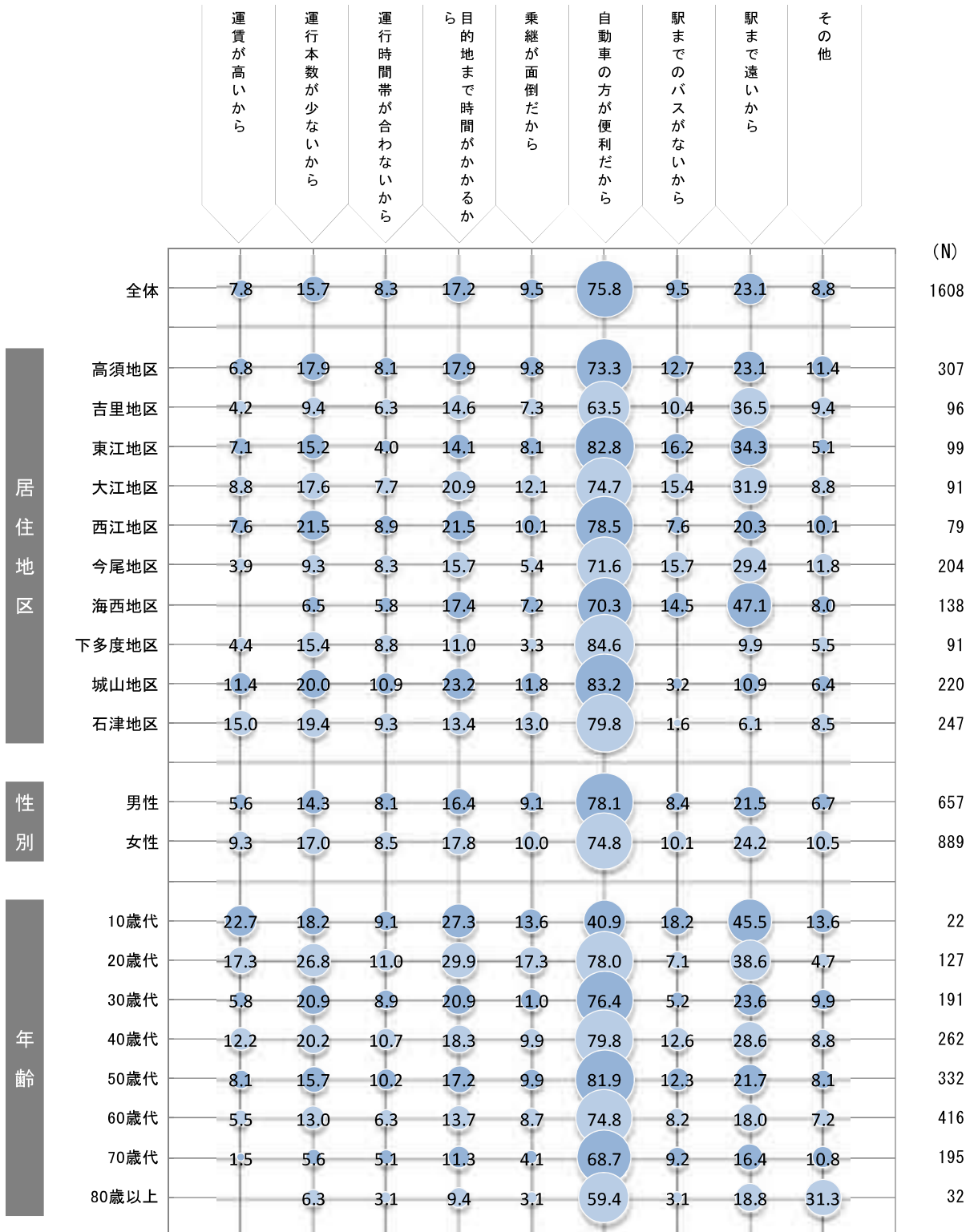
年齢別には、10 歳代 73.2%が「日常的に利用する」「ときどき利用する」としており、他の年代に比べ利用率が高くなっています。また、60 歳以上では「日常的に利用する」は 3.1%～4.5%となっているものの「ときどき利用する」は 20.1%～28.0%とやや高くなっています。



□養老鉄道を利用しない理由【複数回答】

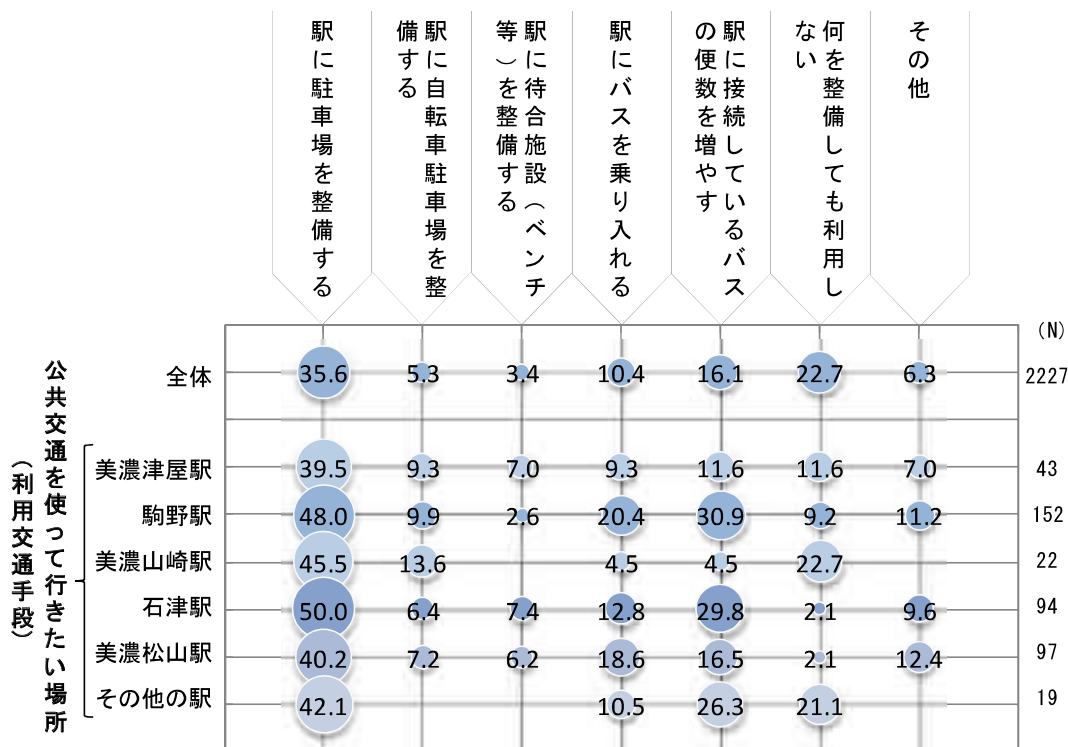
（養老鉄道を「車やタクシーなどの利用ができないときに利用する」「ほとんどあるいは全く利用しない」と回答した方のみ）

養老鉄道を利用しない理由については、「自動車の方が便利だから」が75.8%で最も多く、次いで「駅まで遠いから」が23.1%、「目的地まで時間がかかるから」が17.2%となっています。



□鉄道駅に何が整備されたいか【複数回答】

養老鉄道駅利用の条件については、全体では「駅に駐車場を整備する」が35.6%で最も多く、次いで「駅に接続しているバスの便数を増やす」「駅にバスを乗り入れる」が多くなっています。



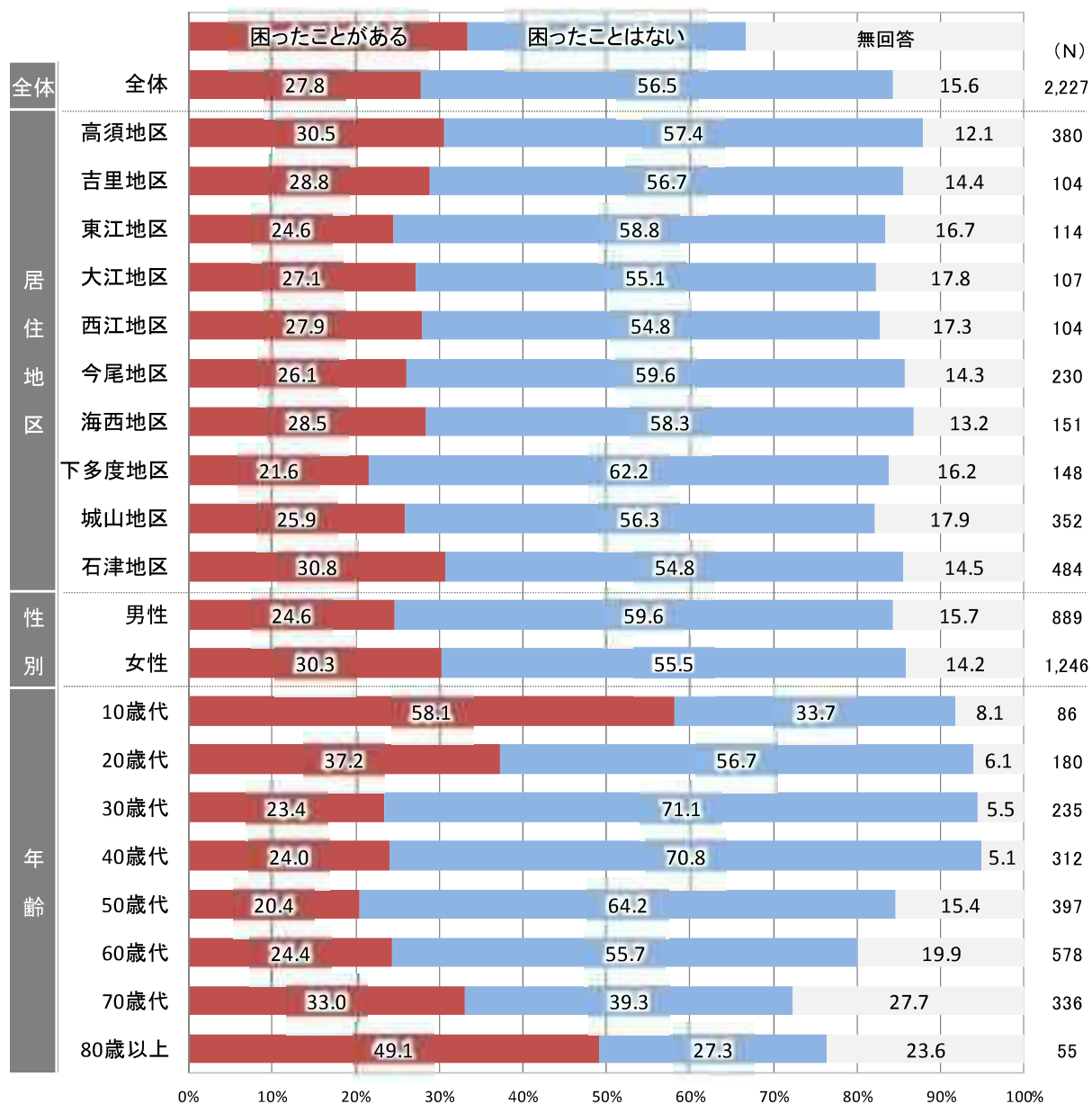
3-7 公共交通の利用について

○公共交通が利用できなくて困った経験のある人は約28%もあり、特に、10歳代、80歳以上で多くなっています。困ったときの対応は、家族に車で送ってもらうという人が多くなっています。

○公共交通を利用して行きたい場所は、鉄道利用では名古屋市、大垣市、大垣市民病院が多く、市内では、コミュニティバスによる海津温泉が多くみられます。今後、このようなニーズを考慮した検討が必要です。

□公共交通が使えなくて困っていることがあるか

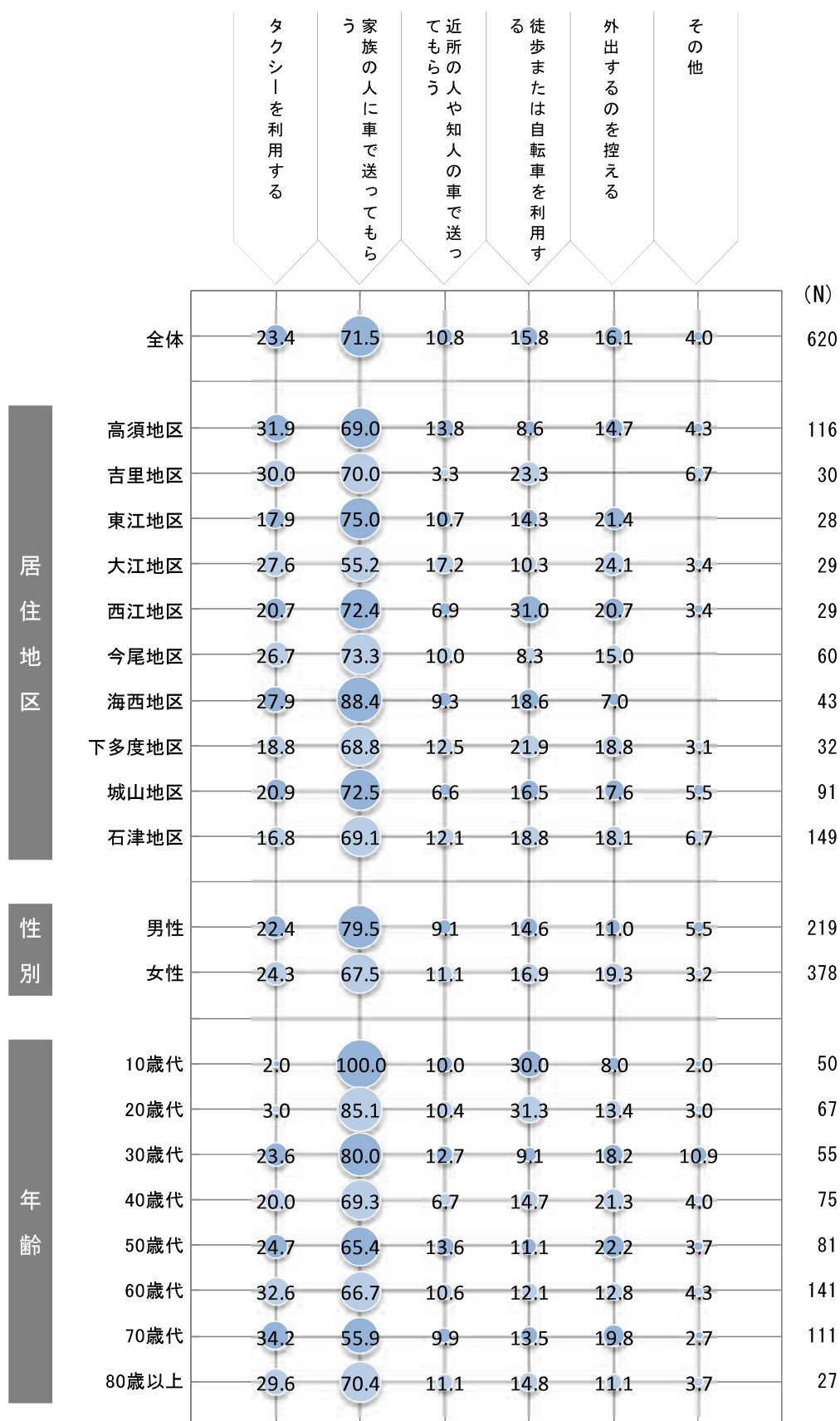
公共交通が使えなくて「困ったことがある」という回答は全体で27.8%となっています。年齢別には、10歳代と80歳以上で「困ったことがある」が50%前後と高くなっています。



□公共交通が使えるなくて困ったときの対応【複数回答】

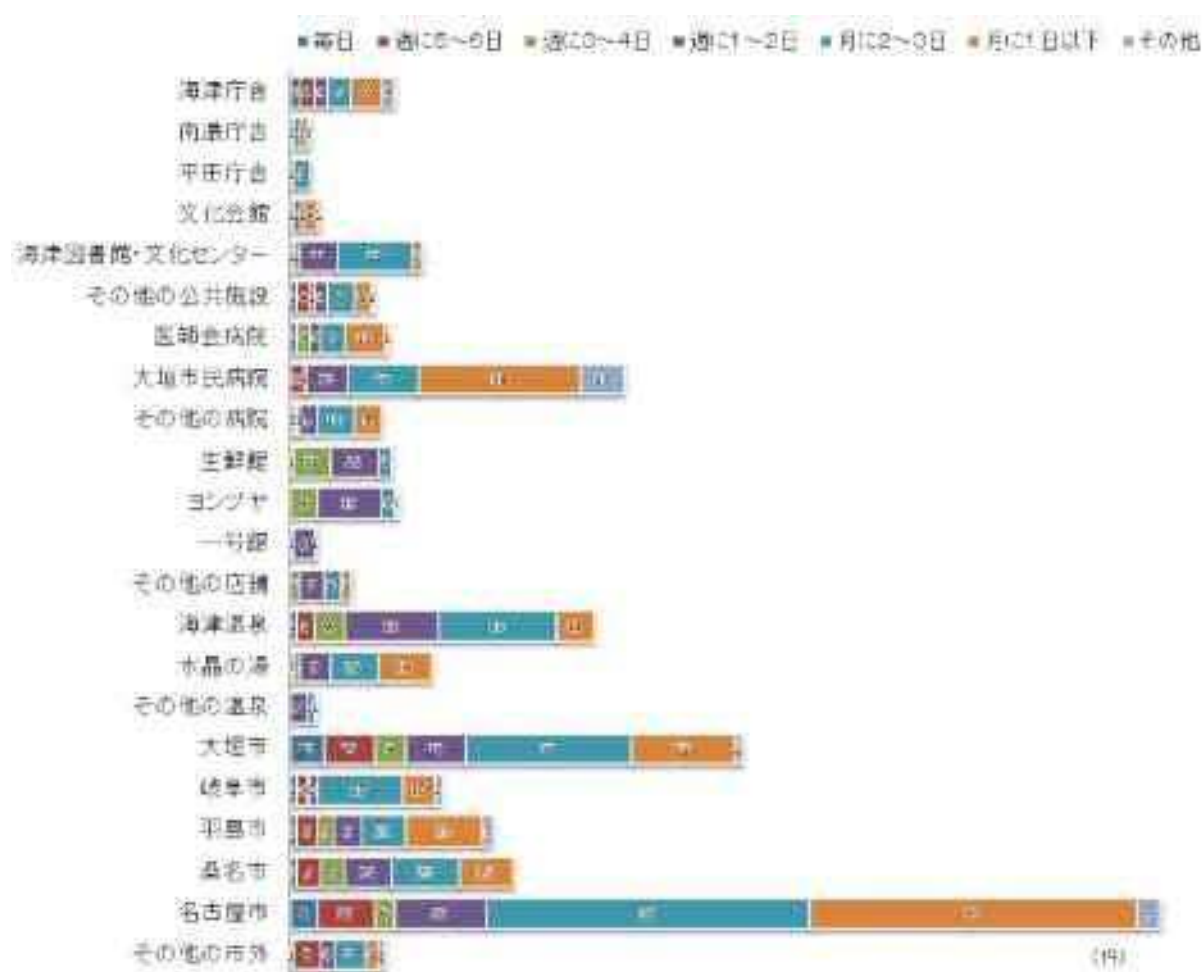
(公共交通が使えるなくて「困ったことがある」と回答した方のみ)

困ったときの対応としては、「家族の人に車で送ってもらう」が71.5%と多くなっています。



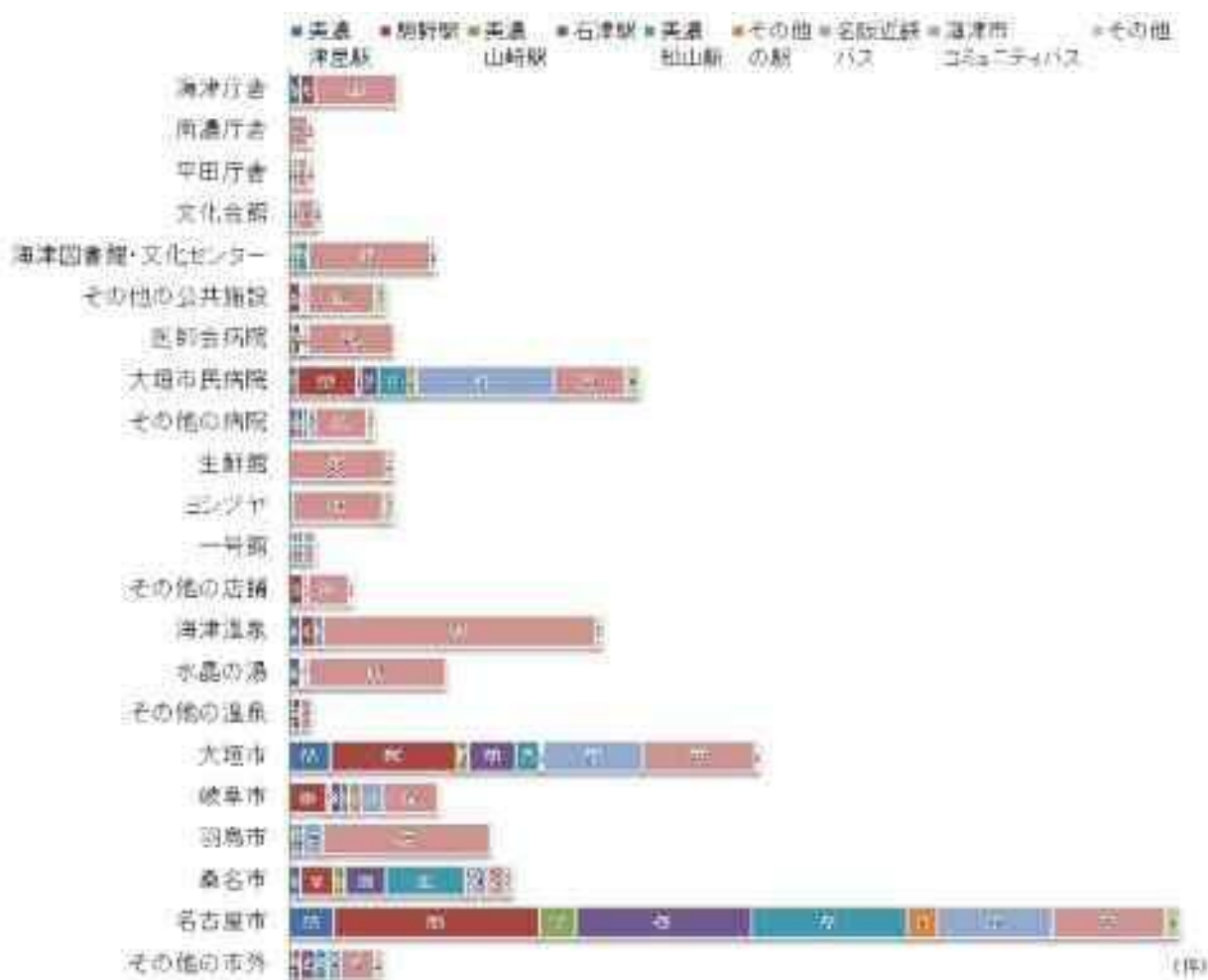
□公共交通を利用して行きたい場所（利用頻度別）

公共交通を利用して行きたい場所は、名古屋市、大垣市、大垣市民病院が多くなっています。市内では、海津温泉が多くなっています。



□公共交通を利用して行きたい場所（利用交通手段別）

利用交通手段別にみると、名古屋市、大垣市、大垣市民病院へは養老鉄道や名阪近鉄バス、市内の海津温泉や水晶の湯と羽島市へは海津市コミュニティバスの利用ニーズがみられます。



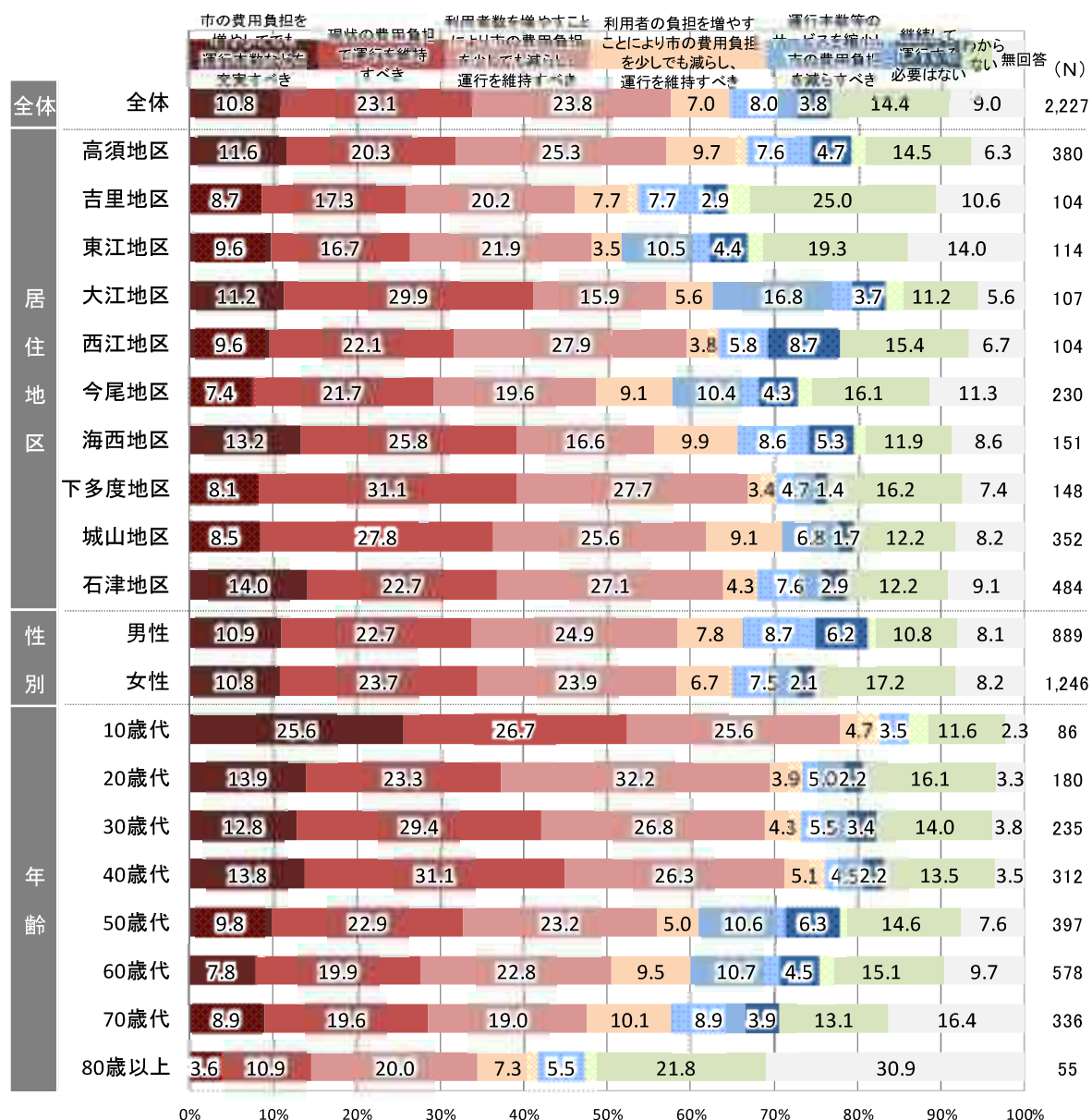
3-8 今後の公共交通について

○公共交通の維持については、64.8%が運行本数等の充実あるいは運行維持を求めています。
また、将来的な利用意向も含めた今後の公共交通の利用ニーズはあわせて60%に達し、公共交通の運行維持の意向は高いことが読み取れます。

□今後の養老鉄道、名阪近鉄バス、コミュニティバスの運行について

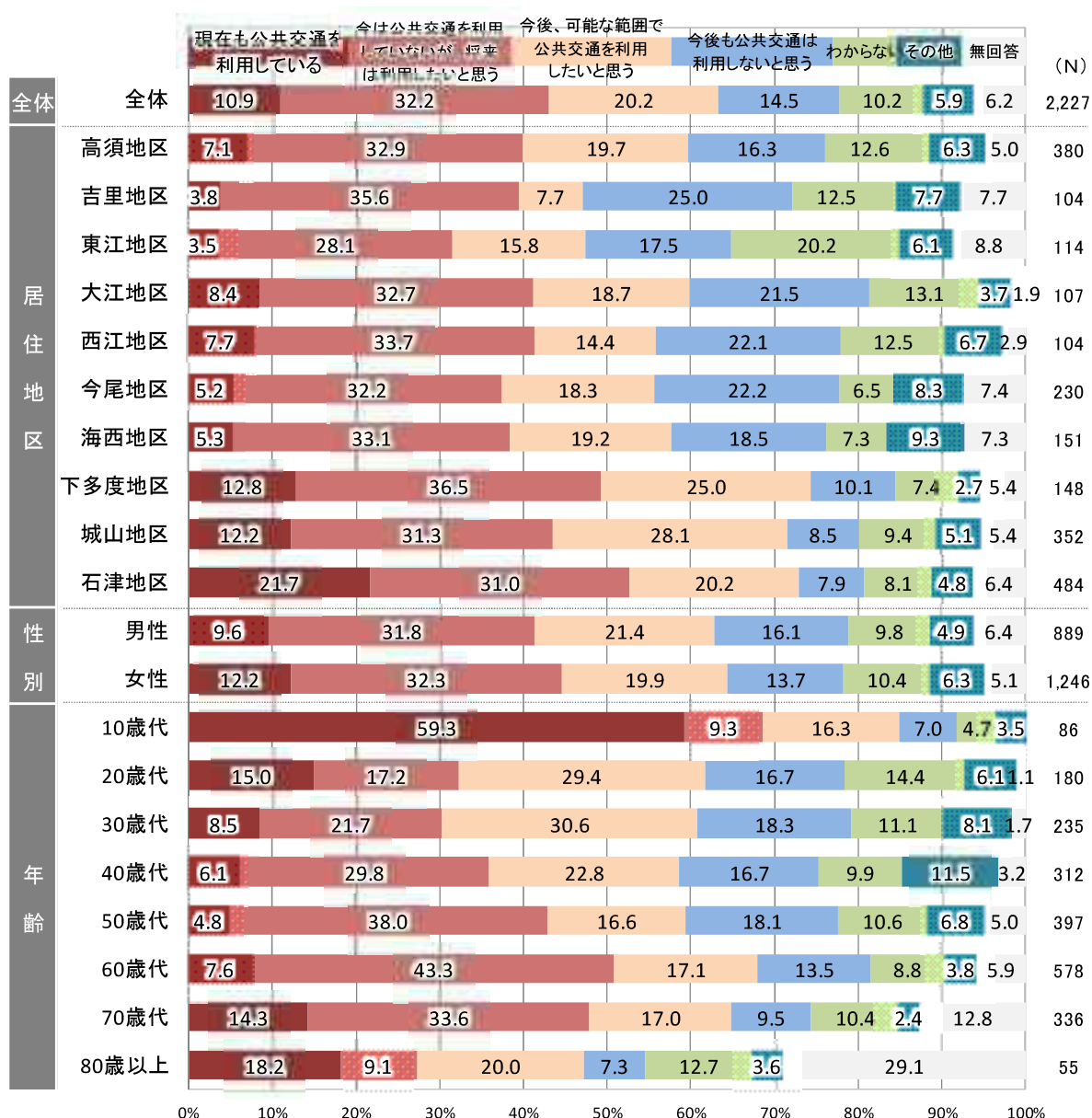
今後の公共交通については、全体として、「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき」が10.8%、「現状の費用負担で運行を維持すべき」が23.1%、「利用者数を増やすことにより市の費用負担を少しでも減らし、運行を維持すべき」が23.8%、「利用者の負担を増やす（運賃の値上げ等）ことにより市の費用負担を少しでも減らし、運行を維持すべき」が7.0%であり、合わせて64.8%が運行本数等の充実あるいは運行維持を求めています。

一方、「運行本数等のサービスを縮小し、市の費用負担を減らすべき」は8.0%、「継続して運行する必要はない」は3.8%であり、サービスの縮小や廃止の意向は合わせて11.8%となっています。



□今後の公共交通の利用について

今後の公共交通の利用については、「今は公共交通を利用していないが、将来は利用したいと思う」が32.2%、「今後、可能な範囲で公共交通を利用したいと思う」が20.2%となっており、「現在も公共交通を利用している」10.9%をあわせると、今後の公共交通の利用ニーズは60%を超えています。



3-9 自由意見

自由意見の内容について分類整理し、分類と意見数は下表のとおりです。

「電車・バスの維持」、「バスの増便、利便性向上」、「バスのルート見直し、充実」に関する意見が多くみられます。

分類	意見数
01 バスのルート見直し、充実	79
02 バスの増便、利便性向上	124
03 バスの運行時間帯	63
04 電車・バスの通学利用	68
05 バスと鉄道の乗り継ぎ	45
06 バス運賃の適正化	15
07 バスの運転手	10
08 バスの小型化	48
09 バス停	35
10 バスの時刻表	13
11 コミュニティバス等（その他）	67
12 コミュニティバスの縮小・廃止	36
13 タクシー利用	15
14 デマンドバス	50
15 養老鉄道の便数	38
16 養老鉄道の運賃	16
17 養老鉄道の接続	21
18 養老鉄道駅	21
19 養老鉄道の通学利用	11
20 駐車場・駐輪場の整備	29
21 電車・バスの維持	185
22 その他公共交通に関する意見	62
23 その他の意見	23
計	1,074

4 住民意見交換会

4-1 開催概要

市の公共交通に関する状況を概説した上で、地域の皆さんから公共交通の利用実態やご意見を伺うため、地域別に開催しました。

	内 容		
開催地域	○市内 10 地域別に 1 回ずつ開催 各回午後 7 時～ 9 時		
	地区名	日 時	参加者数
	高須地区	2 月 7 日（金）	5 名
	吉里地区	2 月 4 日（火）	2 3 名
	東江地区	2 月 5 日（水）	1 3 名
	大江地区	2 月 6 日（木）	1 名
	西江地区	2 月 3 日（月）	1 4 名
	今尾地区	1 月 2 3 日（木）	1 5 名
	海西地区	1 月 2 2 日（水）	4 名
	下多度地区	1 月 2 8 日（火）	1 5 名
	城山地区	1 月 2 9 日（水）	2 5 名
	石津地区	1 月 3 0 日（木）	1 9 名
	合 計		1 3 4 名
参 加 者	○一般住民（どなたでも参加可）		
テ ー マ	○海津市公共交通に関する現状報告 ○公共交通に対する意見、要望等をワークショップ形式で把握		

4-2 公共交通に関する意見の概要

頂いた意見の内容を整理すると、公共交通計画に関する検討事項として、以下のような意見がありました。

□公共交通に関する意見の概要

項 目	主な意見
公共交通の問題点	○養老鉄道は、アクセスが不便。 ○コミュニティバスは、ルートや時間が利用ニーズに合わない。路線と行先が解りにくい。運行本数が少ない。バス停留所を待ちやすい環境にしてほしい。
養老鉄道の改善方向	○駐車場の整備、バス路線の接続が必要。

コミュニティバス ルートの改善 方向	○利用の低いコミュニティバス路線はもっと整理すべき。 ○朝夕は生徒・学生利用、昼間は高齢者利用に特化したコミュニティバスの運行ルート、運行サービス提供を考えたほうが良い。 ○駅・海津庁舎・海津温泉等を拠点に、これらを連絡する幹線路線と、それ以外の地区はデマンド運行とする等、わかりやすく利用しやすい運行ルートにしてはどうか。 ○市外（弥富、津島等）へのルートがあっても良いのではないかな。
運賃	○コミュニティバスの運賃は、もう少し値上げしても良いのではないかな。
公共交通の維持	○公共交通は、高校生の通学に必要な不可欠。人口減少、高齢化が進む中で、住みたいと思えるまちづくりを進めるために公共交通は必要。 ○市の費用負担が大きいので収益性の向上を図るべき。
今後の事業化に 向けて	○まずは実験運行を行って、利用者需要を把握しながら改善していったらどうか。 ○地域（自治会等）で地域内のルートや使い方を責任をもって検討してはどうか。

□地区別の主な意見の概要（主に運行ルートについて）

地 域	意 見
海西	・大垣・羽島方面（大垣市民病院、大垣市内の高校、羽島駅、バロー、ビッグ等）へのバス路線を確保してほしい。
今尾	・大垣・羽島方面（羽島市民病院、大垣市民病院等）への路線がほしい。 ・養老、輪之内町のバスとの連携があるとよい。
下多度	・大垣方面は養老鉄道を利用しており、鉄道は存続してほしい。 ・城南中学の生徒が通学に利用できるようにしてほしい。
城山	・養老鉄道は存続してほしい。 ・今尾・津島駅までのバス路線がほしい。 ・通学利用のために、石津駅、駒野駅へ朝夕はピストンで運行してほしい。
石津	・市内のほかに、桑名、弥富方面へのバス路線がほしい。 ・城南中の合併も考えてバス停を作る必要がある。
西江	・市内のほかに、桑名、弥富方面へのバス路線がほしい。 ・名鉄勝幡駅方面、近鉄弥富方面へ行く路線がほしい。
吉里	・大垣駅、桑名駅、津島駅までの路線があると良い。
東江	・市内のほかに、大垣・弥富・津島方面への路線がほしい。 ・海津南回線の運行サービスを充実してほしい。
大江	・市内のほかに、桑名、津島方面の路線があると良い。
高須	・市内のほかに、津島へ行くバス路線がほしい。 ・高須から大垣へ行く名阪の便が増えれば乗る人は多い。 ・駅(駒野駅)へ直行する路線がほしい。

(資料)

□個別意見表（各地区共通の事項）

区 分	意見概要
総論	・いつも車を利用している。公共交通機関は使わない。 ・バスに乗るという発想がない。 ・公共交通機関は便利なら乗るもの。 ・健康な人と、そうでない人とは区別した施策が必要。福祉の観点は大切。 ・海津市がどんな地域づくりをしたいかまず知りたい。それに対応して考えるべき。 ・住んでいけるまちにするために、公共交通を便利にすべき。
運行ルート	・利用者の少ない路線は廃止する。(例えば5人以下の利用) ・利用者の少ない路線は、土日は無くすなどする。 ・路線のルートは迂回が多く、目的地へ着くのに大変時間がかかる。 ・駅や商業施設、病院など目的地に直行する路線がほしい。 ・行きたいところへ行く路線がない。 ・高校生の足は確保してほしい。 ・全路線が重複している地区があり無駄に思える。 ・岐阜バスの頃のルートにしぼった方がよいのではないか。 ・市内を循環する路線にする。 ・合併前のルートで、現在の住宅地とマッチしていない。 ・近隣の自治体のコミバスとの相互乗入れはできないのか。 ・石津や海津庁舎にターミナルを作って各方面へ利用しやすくする。 ・養老鉄道を起点としたバス路線にする。(養老鉄道が基幹)
運行ダイヤ	・どのバス路線も本数が少なく、行きに使えても帰りには使えない。 ・最終便が早すぎて残業時に使えない。遅くしてほしい。 ・通勤・通学の時間帯と高齢者利用を分けた、目的別運行ダイヤにする。 ・利用者の少ない路線は便を減らす。 ・曜日を決めた運行にしてもよい。 ・高校生の部活などに対応したダイヤがほしい。 ・公共交通にもかかわらず、雪の日には、コミバスが運行していない。 ・お千代保さんなどのイベントに合わせた増便をしてほしい。 ・時刻表通りの運行をしてほしい。
接続	・コミバス同士の乗り継ぎが悪い。 ・待合の時間は10分くらいが良い。 ・コミバスと養老鉄道の接続が悪く、大垣・弥富方面へ出づらい。 ・コミバスと名鉄(岐阜羽島駅)の接続が悪い。 ・コミバスと名阪バスの接続が悪い。
運賃	・運賃は今のままがよい。 ・運賃は少々高くても(200～300円)よい。料金の値上げも必要ではないか。

	・ 65歳以上の50円は安い。100円でよい。 ・ デマンドであれば少々高くても(200～300円)よい。 ・ 羽島までの長い距離で100円は安い、距離に応じた運賃でもよい。 ・ キッズパスポートの5000円は安すぎないか。 ・ 1日券や乗継券があるとよい。
車両	・ バス車両のサイズの見直しが必要。多数の乗客がいる路線は大きいバス。少ない路線、時間帯はワゴンのような小さいバスで充分。 ・ バスのステップが高い、低床バスを採用してほしい。 ・ バスに荷置棚があるとよい。
バス停留所	・ バス停が遠い。 ・ 住宅からの距離が平等でも、田んぼの中にあるバス停はいかがなものか。 ・ バス停数は見直して減らす。 ・ バス停は、各部落2箇所にする。 ・ 堤防の上のバス停は高齢者には危険な上、登るにもつらい。 ・ バス停の名称を施設名にすればわかりやすい。
バス停留所の環境	・ バス停が野ざらしで居心地が悪い。 ・ バス停に屋根があれば雨がしのげる。 ・ バス停をわかりやすいデザインにする。 ・ バス停にも駐車場があれば利用しやすい。 ・ 名阪とコミバスのバス停を同じ場所にしてほしい。
コミバス その他	・ バスの路線、時刻、乗継、バス停の位置がわかりにくい、わかりやすい表示が必要。 ・ たくさん路線があるので、目的地に行く路線がわからない。 ・ (家庭に配られる)時刻表が大変見にくく、分かりづらい。 ・ 各地区ごとの時刻表がほしい。 ・ バス停に乗継方法の簡単な案内がほしい。 ・ 車椅子対策が必要。 ・ バスに自転車が乗せられるとよい。 ・ 飲酒時にはバスに乗りたい。
利用促進	・ コミバスの路線を知らない。知ってもらふPRが必要。 ・ お客様に乗っていただく視点、サービスがない。 ・ 運転手の愛想がない。マナーが悪い。 ・ 月末、深夜、終電に合わせたバスなどを作る。 ・ 海津市の職員がバスを利用すればPRになる。 ・ 海津市の職員が月に1回のノーカーデー、コミバス利用促進。 ・ キッズパスポートは残すべき。 ・ キッズパスポートのような老人向けサービスがあるとよい。 ・ 無料券を配布する。無料の日、イベント乗車など。(バスの利用経験をつくる) ・ 若い世代が利用できるようなバスにする。

	・ 養老鉄道、バス、観光地を巡るフリーパスの発行。 ・ お千代保稲荷、海津温泉の利用者は市外が多い。観光客が使いやすい路線を作る。観光地・商業施設と協力したサービスを作る。 ・ 養老鉄道駅と温泉のピストン路線をつくる。 ・ 温泉でコミバスと養老鉄道の乗継のPRが必要。 ・ 養老鉄道で温泉行のバスの接続をアナウンスしてもらう。 ・ 子ども会で利用してもらう。
運行方式 (デマンド等)	・ 病人は長い時間バスに乗ったり、待ったりできない。 ・ 高齢者はバス停まで歩けない。 ・ デマンドで自分の行きたい所へ、行きたい時間に行けるとよい。 ・ 基幹のコミバスとデマンドバスを併用する。 ・ 利用者の少ない路線はデマンドにする。 ・ 停留所を決めたデマンドバスの運行、ルートは決めない。 ・ デマンドの実験運行をしてみる。 ・ デマンドは予約が必要になるので、問題もある。 ・ デマンドは目的が済むとすぐ帰ってしまう。(お店の人の意見) ・ フリー乗降ができるとよい。 ・ 学生はスクールバスにする。 ・ 通学時は駅までシャトルバスを運行する。 ・ タクシー料金補助にする。 ・ 高須こども園の送迎バスを利用する。 ・ デイサービス送迎車の昼の時間帯を利用して使う。 ・ 自動車学校のバスを活用する。
公共交通機関 の維持	・ 税金を投入しすぎである。 ・ 現在の費用負担なら、改善してほしいが許容できる。 ・ 経営的な視点を持って運営する必要がある。 ・ 委託先への努力を求める。(委託費を安くする) ・ 公共交通といっても収益性や営業努力は必要である。 ・ コミバスをなくす。年間出生 200 人で続けるのは無理。 ・ 1 億 3 千万円の負担は重い。 ・ 負担は市民ががまんする。 ・ 商業施設などから協賛金をもらう。 ・ バスで広告収入を得る。
養老鉄道	・ 高校生の通学には必要。 ・ 養老鉄道の駅、駐車場の整備が必要。(駒野駅、石津駅、山崎駅) ・ 養老鉄道の駅、駐輪場の整備が必要。 ・ 駅が無人できない。 ・ 表示がわかりにくい。 ・ 養老鉄道と平行のコミバスの路線は費用のロスではないか。 ・ 切符の買い方、また無人のため乗り方がわからない。

名阪バス	・今尾までの便は多いが、高須までの便が少ない、高須のバス基地まで来るのなら高須まで運行してほしい。
地域の協働	・養老鉄道の駅などで、地域のボランティアを活用して清掃などを行う。 ・石津社協のバスは参考になる。補助金の助成をしてはどうか。 ・地域(自治会)でルート of 要望をまとめる。 ・地域(自治会)が責任を持って地域の路線、使い方を決める。 ・地域(自治会)ごとに小型バスを管理して、地域(自治会)で運営する。(現、石津で行われている) ・地域(自治会)のコミュニティで、ボランティアでデマンドを運行する。 ・地域(自治会)ごとに必要な路線を決め、市は全体の路線を決める。
自動車免許	・免許の返納はしたくない。 ・免許がなくなれば乗るかもしれないが、現状高齢者は家族の車に乗せてもらっている。 ・10年先を考えると困る問題。

□地域ごとの意見

地 域	意 見
海 西	・大垣市民病院、大垣市内の高校、羽島駅、バロー、ビッグに行きたい。 ・大垣方面、羽島方面の近隣市の交通機関との接続をよくしてほしい。 ・大藪大橋から南濃大橋路線があるとよい。 ・ビッグ経由で岐阜羽島駅へ行く路線があるといい。 ・岐阜羽島線を朝夕でルート変更する。朝夕は通勤・通学、昼間は高齢者が対象。 ・羽島市役所前までの路線があるとよい。 ・羽島のコミバスとの連携があるとよい。
今 尾	・羽島市民病院、大垣市民病院、医師会病院、海津庁舎、海津温泉、ヨシヅヤ、オークワ、イオン大垣、東員イオン、マイカル、輪之内ビッグ、各所のイベント時(車が混雑する)、介護施設、養老に行きたい。 ・今尾から南濃へ行くバスがない。 ・養老、輪之内との連携があるとよい。 ・名鉄勝幡まで行きたい大学生は多い。 ・羽島線は大学生も使うので、1時間1本に増やしてほしい。
下多度	・大垣市民病院、医師会病院、西美濃厚生病院、オークワ、ヨシヅヤ、岐阜羽島駅、養老整形、かわい整形、とみなり整形、水晶の湯、ゆとりの森、大垣、養老高田、平田、名古屋方面へ行きたい。 ・大垣方面は養老鉄道を利用する。 ・コミバスより養老鉄道が残ってほしい。バスはデマンドにする。 ・中学統合に合わせてバスを整備する。(中学生にアンケートを取る) ・高校生は利用状況調査をするべき。 ・城南中学の生徒が通学に利用できるようにする。

	・津島～今尾の路線がほしい。 ・今尾を乗継場所にしたい。 ・医師会病院への乗継が悪い。 ・今尾橋経由の路線がほしい。
城 山	・大垣市民病院、医師会病院、たかお眼科、野村クリニック、海津庁舎、トンカチ・コメリー、生鮮館、一号館、水晶の湯、海津温泉、駅、名古屋へ行きたい。 ・南濃北回線南濃庁舎発 7:59 は、高校生が一杯で一般の人が乗りづらい。 ・休日木曽三川公園へ行きたいが、便が少なすぎる。 ・南濃北回線便数が少ない。 ・南濃→平田、海津での乗継がしたい。もしくは直行便がほしい。 ・駒野駅へ行く路線がない。 ・津島駅までの路線があれば名古屋とのアクセスがよくなる。 ・通学利用のために、海津から駒野駅までの路線がほしい。 ・石津駅、駒野駅へ朝夕はピストンで運行してほしい。 ・海津庁舎⇄医師会病院を基幹にしてほしい。 ・今尾へ直接行く便がほしい。 ・輪之内から大垣市内の便を増やしてほしい。 ・コミバスより養老鉄道がなくなると困る。
石 津	・海南病院、大桑病院(桑名方面)、大垣市民病院、西美濃厚生病院、一号館、銀行、温泉、弥富、桑名、名古屋、四日市へ行きたい。 ・南部グランドの近くにバス停がほしい。 ・城南中の合併も考えてバス停を作る。 ・スクールバスにした方がよい。(明誠高校)
西 江	・桑名の病院、ヨシヅヤ、ゲンキー、一号館、生鮮館、三洋堂、お千代保稲荷、温泉、石津、羽島、弥富へ行きたい。 ・公共交通が不便なので、車を使えなくなった場合転出も考えている。 ・平田北回、梶屋にもバス停がほしい。 ・名鉄勝幡へ行く路線がほしい。 ・弥富へ行くバス路線がほしい。(名古屋方面)
吉 里	・医師会病院、とみなり整形、生鮮館、ゲンキー、ヨシヅヤ、温泉へ行きたい。 ・大垣駅、桑名駅までの路線があれば乗る。 ・津島駅へ行く路線があるとよい。 ・名古屋駅、名古屋ドームへの路線があるとよい。 ・南回線は廃止した方がよい。 ・津島からお千代保稲荷へ行く路線がほしい。 ・海津庁舎～東海大橋～津島の路線があるとよい。 ・自治会でルートのを要望をまとめる。 ・自治会単独で行先を決めて運行する。(買物バス、病院バスを走らせる。)

	・地域が責任を持って地域の路線、使い方を決める。
東 江	・大垣市民病院、医師会病院、西美濃厚生病院、海津庁舎、海津温泉、生鮮館、ヨシヅヤ、ゲンキー、バロー(羽島)、オークワ、大矢内科、お千代保稲荷のレストラン、寺回りへ行きたい。 ・バス停はなくしてほしくない。 ・海津南回線、土日も 11 時・14 時台の路線を走らせてほしい。 ・海津南回線、土日は利用が多く座れない。大きいバスにしてほしい。 ・直接高須方面へ行く路線がほしい。東回線は迂回しすぎ。 ・海津庁舎方面へ行きやすくする。 ・大垣市民病院へ行く路線がほしい。 ・弥富行の路線がほしい。 ・南濃は養老鉄道に乗らせるバス路線が必要。 ・高校生は養老鉄道駒野駅が利用できるとよい。 ・駒野駅から津島駅をつなぐ路線がない。 ・津島駅へ行きたい。 ・地域のことは地域のコミュニティで協働する。 ・地区のボランティアでデマンドを運行する。 ・地区ごとに必要な路線を決め、市は全体の路線を決める。
大 江	・生鮮館、ゲンキー、とみなり整形、大桑病院、桑名の山本病院、愛知県各所へ行きたい。 ・以前、大江から津島へ架かる橋の計画があったはず。橋があれば津島へ行くルートにもなり、津島は名古屋へ出るのに便利。 ・定年退職後、好きで静かな海津へ来た。不便なのは承知している。
高 須	・石津駅、お千代保稲荷、岐阜羽島、ヨシヅヤ、生鮮館、ゲンキー、オークワ、高尾眼科 ・津島へ行くバス路線がほしい。名古屋へ行くのに便利。 ・高須から大垣へ行く名阪の便が増えれば乗る人は多い。 ・駅(駒野駅)へ直行する路線がほしい。

5 課題の整理

上記の調査結果の分析、先に設定した問題意識に対する分析等をもとに、課題を明らかにします。

5-1 公共交通ネットワーク全体からみた課題

① 養老鉄道駅へのアクセスの改善と利用促進

養老鉄道は、海津市から大垣市、桑名市に接続し、岐阜市や名古屋市などへのアクセスにも使われている基幹的な公共交通です。現状では、高校生の通学の足として、また、鉄道沿線から大垣市などへの通院、買い物等に利用されています。

しかし、利用者は年々減少傾向にあり、年間9億円もの赤字を近鉄、沿線自治体が負担しており、存続が危ぶまれている状況です。市内の駅の利用者も減少傾向にあり、市民アンケートや意見交換会等では、駐車場が少なく、バスの接続も弱いため、利用しづらいという声があります。

養老鉄道は、通勤・通学や買い物、通院等の市民生活に必要不可欠な公共交通手段のため、駅へのアクセス条件を改善し、利用しやすい環境を整備するとともに、市民・行政が丸となって、利用促進に努める必要があります。

② 養老鉄道・路線バスと海津市コミュニティバスの連携強化

海津市内には、名阪近鉄バス路線と海津市コミュニティバス路線がありますが、それぞれの接続が十分でなく、乗り継ぎしづらい状況にあります。名阪近鉄バスの多くの便の始発バス停となっている今尾バス停留所は、コミュニティバスのバス停と離れています。

公共交通を利用しやすくするためには、鉄道・路線バス及び海津市コミュニティバスが相互に連携したネットワーク、運行ダイヤとすることが必要です。

③ まちづくりを誘導し、利用しやすいコミュニティバスのネットワーク形成

海津市コミュニティバスについては、8路線が複雑に入り組んだネットワークとなっているため、目的地にどの路線を利用すればよいか分かりにくいとの意見があります。

現状では、小中学生や高校生の通学、高齢者の通院・買い物・温泉・観光利用に利用されており、次の区間での利用が多くなっています。

(平日に利用の多い区間)

- ・市内と岐阜羽島駅間の高校生の通学利用、お千代保稲荷の観光利用（海津羽島線）
- ・養老鉄道の駅（駒野駅、津谷駅）と海津明誠高校口・城跡公園前間の海津明誠高校生の通学利用（南濃北回り線、南濃南回り線）
- ・高須小学校への通学利用（南濃南回り線）
- ・羽島市の桑原小学校への通学利用（平田お千代保稲荷線）
- ・松山グリーンハイツと海津温泉間の温泉利用（南濃南回り線）

(休日に利用の多い区間)

- ・お千代保稲荷と岐阜羽島駅・石津駅間の観光利用（岐阜羽島線）

- ・ 松山グリーンハイツと海津温泉間の温泉利用（南濃南回り線）

このような利用の多い区間と、その他の少ない区間の利用実態にあわせて、運行ルート運行方法を検討することが必要と考えられます。

海津市では、庁舎統合により海津庁舎が行政の中心的な役割を担うことになりますが、今後のまちづくりを見据え、

- ・ 朝夕の通学対応の路線と昼間の通院・買い物・温泉利用の路線との区分
- ・ 養老鉄道との接続の強化
- ・ 利用状況を踏まえてバス路線の幹線と支線の機能分担の明確化

などにより、利用しやすいネットワークを形成することが必要です。

また、市民アンケート調査等では、名古屋市等の市外への接続ニーズが高いことから、市外の鉄道駅への接続や、周辺市町の子バスとの連絡等、広域連携についても検討することが必要です。

④ 利用実態にあったコミュニティバス運行形態の検討

名阪近鉄バス、海津市コミュニティバスの利用者は、平日の朝夕は通学利用に特化しており、自宅と学校、学校と鉄道駅間といった利用の多い区間が明確です。

一方、昼間及び休日は、通院、買い物、温泉、観光利用です。お千代保稲荷への観光利用と海津温泉利用以外では、乗車バス停と降車バス停が分散しており、かつ利用者が少なく、ほとんど利用されていない路線区間もあります。運行ルートが集落を回っているため、目的地まで時間がかかることから、敬遠されている面もあります。

昼間の便については、一部区間を除くと利用区間が分散していることから、幹線的なバス停までの区間や、主要な目的地まで迂回せず直通に近い運行ができるデマンド運行などの新しい運行方式についても検討することが必要と考えられます。

デマンド運行については、目的地までの迂回が少なくなり乗車時間が短くなる等のメリットがある一方で、予約する面倒などのデメリットもありますので、定時定路線運行との比較や住民の意見を踏まえて検討することが望まれます。

⑤ 地域との協働による公共交通利用促進の取組み

公共交通を維持していくには、交通事業者や行政の取組みに加えて、地域が危機感を持って公共交通の必要性を認識するとともに、地域で守り育てていく意識とそのための仕組みづくりが必要です。

地域内を運行するコミュニティバス路線については、地域住民の総意で運行ルートや運行方式を検討し、利用者を確保することに責任を持つなど、地域が主体となった取組みを行うことが重要です。

5-2 路線別の課題

公共交通ネットワーク全体からみた課題を踏まえ、公共交通の区分別にみた課題を下表のとおり整理しました。

区分	課題
養老鉄道	・ 利用しやすい環境整備（駐車場・駐輪場の整備、バスの接続・便数の強化等） ・ 利用促進策の実施
名阪近鉄バス	・ 海津市コミュニティバス路線との接続強化 ・ 利用促進策の実施
海津市コミュニティバス	・ 幹線と支線の機能分担等によるネットワークの見直し検討 ・ デマンド方式を含めた運行方法の検討 ・ 市外に接続する路線の検討 ・ 運賃制度の適正化検討 ・ 地域が主体となったルート等の検討、利用促進の取組み ・ 利用促進策の実施

参考資料

□検討経緯

平成 25 年	12 月 5 日	第 1 回 海津市公共交通会議 ・ 調査全体の企画 ・ 市内公共交通の現状 ・ 実態調査、市民ニーズ調査の企画
平成 26 年	1 月 8 日 ～ 2 月 7 日	市民ニーズ調査実施（アンケート） ・ 15 歳以上市民、5,000 名対象（無作為抽出）
	1 月 17 日、 19 日	公共交通利用実態調査実施（ヒアリング） ・ 路線バス、コミュニティバス利用者
	1 月 23 日 ～ 2 月 7 日	住民意見交換会開催 ・ 10 地域別、1 回開催
	3 月 24 日	第 2 回 海津市公共交通会議 ・ 実態調査、市民ニーズ調査の結果報告 ・ 課題の整理

□海津市地域公共交通会議設置要綱

平成19年3月23日

告示第18号

改正 平成20年6月24日告示第87号

平成25年9月10日告示第101号

(目的)

第1条 海津市地域公共交通会議(以下「交通会議」という。)は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第6条第1項の規定に基づく地域公共交通総合連携計画(以下「連携計画」という。)の作成に関する協議等及び地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(平成23年国総計第97号)第2条第1項第1号の規定に基づく生活交通ネットワーク計画(以下「ネットワーク計画」という。)の作成に関する協議等並びに道路運送法(昭和26年法律第183号。以下「法」という。)の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため設置する。

(協議事項)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議し、関係する事業を実施するものとする。

- (1) 市における公共交通のあり方に関する事項
- (2) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (3) 市運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (4) 連携計画及びネットワーク計画の策定及び変更の協議に関する事項
- (5) 連携計画及びネットワーク計画の実施に係る連絡調整に関する事項
- (6) 連携計画及びネットワーク計画に位置付けられた事業の実施に関する事項
- (7) 前各号に掲げるもののほか、交通会議の運営方法その他前各号に掲げるもののほか、交通会議が必要と認める事項

(交通会議の構成員)

第3条 交通会議は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する委員をもって組織する。

- (1) 副市長又は市の職員
- (2) 一般旅客自動車運送事業者
- (3) 一般旅客自動車運送事業者が組織する団体
- (4) 住民又は利用者の代表者
- (5) 中部運輸局岐阜運輸支局長又はその指名する者
- (6) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者
- (7) 岐阜県都市建築部公共交通課長又はその指名する者
- (8) 道路管理者又はその指名する者
- (9) 海津警察署長又はその指名する者
- (10) 学識経験者
- (11) その他交通会議が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 交通会議に会長及び副会長を置き、会長は委員の互選によりこれを定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。

2 会長は、会務を総括し、交通会議を代表する。

3 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 交通会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 交通会議は、委員の半数以上が出席しなければこれを開くことができない。

3 委員は、やむを得ない理由により会議を欠席する場合は、代理の者を出席させることができるものとし、あらかじめ会長に代理の指名等を報告することにより、その代理の者の出席をもって当該委員の出席とみなす。

- 4 交通会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 5 交通会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開にすることができる。
- 6 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(専門部会)

第7条 会長は、必要に応じて交通会議に専門部会を設置することができる。

(庶務)

第8条 交通会議の庶務は、総務部総務課において処理する。

(協議結果の取扱い)

第9条 交通会議において協議が調った事項について、関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(その他)

第10条 この告示に定めるもののほか、交通会議の運営に関して必要な事項は、会長が交通会議に諮り定める。

附 則

この告示は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年6月24日告示第87号)

この告示は、平成20年7月1日から施行する。

附 則(平成25年9月10日告示第101号)

この告示は、公表の日から施行する。

□地域公共交通会議委員名簿

〔委 員〕

	委員区分	委 員 氏 名		備 考
		所属及び職名	氏 名	
1	運送事業者	名阪近鉄バス(株) 乗合バス営業部長	武長 英一	
2		スイトトラベル(株) 取締役社長	一柳 正義	
3		岐阜近鉄タクシー(株) 取締役支配人	伊藤 純祐	
4		養老鉄道(株) 取締役鉄道営業長	中澤 昌弘	
5	運送事業者が組織する団体	公益社団法人岐阜県バス協会 専務理事	山田 芳喜	
6	市民の代表者	海津市議会議長	川瀬 厚美	
7		海津市自治連合会長	宮脇 信幸	副会長
8		海津市老人クラブ連合会長	近藤 悦夫	
9		公募委員	水谷 和明	
10		公募委員	松岡 淳子	
11		公募委員	伊藤 千代子	
12		公募委員	河合 雅樹	
13	岐阜運輸支局	国土交通省中部運輸局 岐阜 運輸支局 首席運輸企画専門官	木村 治史	
14	運転者が組織する団体	名阪近鉄バス労働組合 中央執行部書記長	加藤 浩司	
15	岐阜県公共交通課	岐阜県都市建築部 公共交通課長	松田 勲	
16	道路管理者	国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 大垣維持出張所管理係長	高岡 尚記	
17		岐阜県大垣土木事務所 施設管理課長	堀 純文	
18	海津警察署	岐阜県海津警察署 交通課長	井上 浩史	
19	学識経験者	岐阜大学工学部教授	倉内 文孝	
20	海津市	海津市副市長	後藤 昌司	会長
21		海津市総務部長	福田 政春	
22		海津市建設部長	丹羽 功	

〔事務局〕

区 分	所属及び職名	氏 名	備 考
海津市	海津市総務部総務課長	渡辺 良光	
	同課長補佐兼生活安全係長	大橋 隆幸	
	同課主任	横井 孝仁	
	同課主事	田中 貴則	

(調査票)

公共交通に関するアンケート調査のお願い

みなさまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本市の公共交通は、養老鉄道、名阪近鉄バス、コミュニティバスによって運行されています。

市が運行するコミュニティバスは、合併前に各町で運行されていた路線形態を引き継ぎ、若干の見直しを図りながら現在は8路線で運行していますが、利用の少ない便やバス停があります。また、平成22年に実施した市民アンケートでは、公共交通の便利さに不満のある人が約6割となっています。

このような状況を踏まえ、公共交通を市民ニーズにあった路線・運行時間・運行方法等の見直しを行うことが必要になっていると考えています。

そこで、市民のみなさまに公共交通の利用実態やご意見をうかがい、今後の計画づくりに反映していくため、無作為に5,000名の方を抽出しアンケート調査を実施することといたしました。

調査結果の取り扱いについては、この調査以外の目的に使用することはありません。また、統計的に集計しますので、個人を特定することはありません。

趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

海津市長 松永 清彦

【アンケート記入にあたってのお願い】

●回答は、番号に○を付けていただくものと、ご記入いただくものがあります。

() 内には、具体的な内容をご記入ください。

ご記入が終わりましたアンケートは、

平成26年1月24日(金)までに同封の封筒に入れて、ご返送ください。
(切手は必要ありません)。

【アンケート内容に関するお問い合わせ先】

海津市総務部総務課生活安全係

〒503-0695 海津市海津町高須515番地

電話 (0584) 53-1111 (代表) FAX (0584) 53-2170

Mail: somu@city.kaizu.lg.jp

219にこの輸出が

問1. 定期的に外出されるときに、その目的ごとに、行先、開催、期間、利用申請手続
表ご記入ください。該当しない目的については、未記入で結構です。

目的	主な行き先 (1. かつ所にて○印あるは記入)	外出経路 (表1) から選択)	外出時間等 (表2) から選択)	主な交通手段 (表3) から選択)	主な経由地 (該当するものを全て○印)
通勤	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街の東の市街 ⑦市街	(2)	行き (2) 帰り (2)	行き (2) 帰り (2)	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街 ⑦市街 ⑧市街 ⑨市街 ⑩市街 ⑪市街 ⑫市街 ⑬市街 ⑭市街 ⑮市街 ⑯市街 ⑰市街 ⑱市街 ⑲市街 ⑳市街 ㉑市街 ㉒市街 ㉓市街 ㉔市街 ㉕市街 ㉖市街 ㉗市街 ㉘市街 ㉙市街 ㉚市街 ㉛市街 ㉜市街 ㉝市街 ㉞市街 ㉟市街 ㊱市街 ㊲市街 ㊳市街 ㊴市街 ㊵市街 ㊶市街 ㊷市街 ㊸市街 ㊹市街 ㊺市街 ㊻市街 ㊼市街 ㊽市街 ㊾市街 ㊿市街
通学	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街の東の市街 ⑦市街	(5)	行き (2) 帰り (3)	行き (3) 帰り (3)	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街 ⑦市街 ⑧市街 ⑨市街 ⑩市街 ⑪市街 ⑫市街 ⑬市街 ⑭市街 ⑮市街 ⑯市街 ⑰市街 ⑱市街 ⑲市街 ⑳市街 ㉑市街 ㉒市街 ㉓市街 ㉔市街 ㉕市街 ㉖市街 ㉗市街 ㉘市街 ㉙市街 ㉚市街 ㉛市街 ㉜市街 ㉝市街 ㉞市街 ㉟市街 ㊱市街 ㊲市街 ㊳市街 ㊴市街 ㊵市街 ㊶市街 ㊷市街 ㊸市街 ㊹市街 ㊺市街 ㊻市街 ㊼市街 ㊽市街 ㊾市街 ㊿市街
通勤・通学	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街の東の市街 ⑦市街	()	行き () 帰り ()	行き () 帰り ()	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街 ⑦市街 ⑧市街 ⑨市街 ⑩市街 ⑪市街 ⑫市街 ⑬市街 ⑭市街 ⑮市街 ⑯市街 ⑰市街 ⑱市街 ⑲市街 ⑳市街 ㉑市街 ㉒市街 ㉓市街 ㉔市街 ㉕市街 ㉖市街 ㉗市街 ㉘市街 ㉙市街 ㉚市街 ㉛市街 ㉜市街 ㉝市街 ㉞市街 ㉟市街 ㊱市街 ㊲市街 ㊳市街 ㊴市街 ㊵市街 ㊶市街 ㊷市街 ㊸市街 ㊹市街 ㊺市街 ㊻市街 ㊼市街 ㊽市街 ㊾市街 ㊿市街
通勤	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街の東の市街 ⑦市街	()	行き () 帰り ()	行き () 帰り ()	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街 ⑦市街 ⑧市街 ⑨市街 ⑩市街 ⑪市街 ⑫市街 ⑬市街 ⑭市街 ⑮市街 ⑯市街 ⑰市街 ⑱市街 ⑲市街 ⑳市街 ㉑市街 ㉒市街 ㉓市街 ㉔市街 ㉕市街 ㉖市街 ㉗市街 ㉘市街 ㉙市街 ㉚市街 ㉛市街 ㉜市街 ㉝市街 ㉞市街 ㉟市街 ㊱市街 ㊲市街 ㊳市街 ㊴市街 ㊵市街 ㊶市街 ㊷市街 ㊸市街 ㊹市街 ㊺市街 ㊻市街 ㊼市街 ㊽市街 ㊾市街 ㊿市街
通勤	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街の東の市街 ⑦市街	()	行き () 帰り ()	行き () 帰り ()	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街 ⑦市街 ⑧市街 ⑨市街 ⑩市街 ⑪市街 ⑫市街 ⑬市街 ⑭市街 ⑮市街 ⑯市街 ⑰市街 ⑱市街 ⑲市街 ⑳市街 ㉑市街 ㉒市街 ㉓市街 ㉔市街 ㉕市街 ㉖市街 ㉗市街 ㉘市街 ㉙市街 ㉚市街 ㉛市街 ㉜市街 ㉝市街 ㉞市街 ㉟市街 ㊱市街 ㊲市街 ㊳市街 ㊴市街 ㊵市街 ㊶市街 ㊷市街 ㊸市街 ㊹市街 ㊺市街 ㊻市街 ㊼市街 ㊽市街 ㊾市街 ㊿市街
その他、施設利用等	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街の東の市街 ⑦市街	()	行き () 帰り ()	行き () 帰り ()	①市街 ②市街 ③市街 ④市街 ⑤市街 ⑥市街 ⑦市街 ⑧市街 ⑨市街 ⑩市街 ⑪市街 ⑫市街 ⑬市街 ⑭市街 ⑮市街 ⑯市街 ⑰市街 ⑱市街 ⑲市街 ⑳市街 ㉑市街 ㉒市街 ㉓市街 ㉔市街 ㉕市街 ㉖市街 ㉗市街 ㉘市街 ㉙市街 ㉚市街 ㉛市街 ㉜市街 ㉝市街 ㉞市街 ㉟市街 ㊱市街 ㊲市街 ㊳市街 ㊴市街 ㊵市街 ㊶市街 ㊷市街 ㊸市街 ㊹市街 ㊺市街 ㊻市街 ㊼市街 ㊽市街 ㊾市街 ㊿市街

【附例】

7. バイク
O. その他

41

バスの利用について

問2. あなたの家の最寄りの名阪近鉄バスあるいはコミュニティバスのバス停がどこにあるかご存じですか。(1つに〇印)

- ① 知っている ⇒ 自宅から約()m程度
② 知らない
③ バス停がない

問3. あなたは日頃、市内でバスを利用することがありますか。(1つに○印)

- ① 日常的に利用する } 次の付録(1)～(2)にお答えください
② とときどき利用する }
③ 車やタクシーなどの利用ができないときに利用する } 次の付録(3)にお答えください
④ 天候が悪いとき(雨天など)に利用する }
⑤ ほとんどあるいは全く利用しない }

⇒問3で「①、② 利用する」と回答された方

付問(1) バスを利用する理由はなんですか。(複数回答可)

- ① 他の交通手段よりも早く移動できるから
- ② 他の交通手段よりも安く移動できるから
- ③ バス停が自宅や目的地の近くにあるから
- ④ 歩かなくて済むから
- ⑤ 自家用車などの交通手段がない、あるいは使えないから
- ⑥ 迷ってくれる人がいないから
- ⑦ その他（ ）

付随(2) 主に利用するバスはどれですか。(複数回答可)

- ① 名阪近鉄バス ② 海津市コミュニティバス

⇒問3で「③、④、⑤ あまり利用しない」と回答された方

付問(3) バスを利用しない理由はなんですか。(複数回答可)

- ① 運賃が高いから
- ② 運行本数が少ないから
- ③ 家の近くにバス停がないから
- ④ 使いたい時間にバスがないから
- ⑤ 自家用車の方が便利だから
- ⑥ 自転車や徒歩で行けるから
- ⑦ 高齢、けが又は病気などの理由からバスを利用できないから
- ⑧ その他（ ）

養老鉄道の利用について

問4. あなたが養老鉄道を利用するとしたら、どの駅になりますか。

- | | | | |
|--------|-----------|--------|------|
| ①美濃津屋駅 | ②朝野駅 | ③美濃山崎駅 | ④石津駅 |
| ⑤美濃松山駅 | ⑥その他の駅（ ） | | |

問5. あなたは、普段、養老鉄道を利用されていますか。（1つに○印）

- | | |
|---------------------------|--|
| ① 日常的に利用する | |
| ② ときどき利用する | |
| ③ 車やタクシーなどの利用ができないときに利用する | |
| ④ ほとんどあるいは全く利用しない | |
| ⑤ その他（ ） | |

問6. 上記で、養老鉄道をあまり利用されない方（③、④にお答えの方）にお聞きます。
鉄道を利用しない理由は何ですか。（複数回答可）

- | | |
|---------------|----------------|
| ①運賃が高いから | ②運行本数が少ないから |
| ③運行時間帯が合わないから | ④目的地まで時間がかかるから |
| ⑤乗降が面倒だから | ⑥自動車の方が便利だから |
| ⑦駅までのバスがないから | ⑧駅まで遠いから |
| ⑨その他（ ） | |

鉄道駅に何が整備されたら利用したいと思いますか。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①駅に駐車場を整備する | ②駅に自転車駐車場を整備する |
| ③駅に待合施設（ベンチ等）を整備する | |
| ④駅にバスを乗り入れる | ⑤駅に接続しているバスの便数を増やす |
| ⑥何を整備しても利用しない | ⑦ その他（ ） |

公共交通の利用について

問7. 外出したい時に、公共交通（養老鉄道、名阪近鉄バス、海津市コミュニティバス）
が使えなくて困ったことがありますか。（1つに○印）

- | | |
|----------------|---------------|
| ①困ったことがある ⇒下記へ | ②困ったことはない⇒問8へ |
|----------------|---------------|

困ったときは、どのようにしますか。（2つまで○印）

- | | |
|-------------------|----------------|
| ①タクシーを利用する | ②家族の人に車で送ってもらう |
| ③近所の人や知人の車で送ってもらう | ④徒歩または自転車を利用する |
| ⑤外出するのを控える | ⑥その他（ ） |

問8. 公共交通（養老鉄道、名阪近鉄バス、海津市コミュニティバス）が利用しやすくなったら、公共交通を使って行きたい場所がありますか。行きたい場所があれば、次の表に、行先、利用目的、利用頻度、利用交通手段、利用時間帯をお答えください。なければ、未記入で結構です。

	行き先 (下記①より番号を選択)	利用目的 (下記②から選択)	利用頻度 (下記③から選択)	利用交通手段 (下記④から選択)	利用時間帯 (具体的に記入)
記入例	下記番号 (1 4) あるいは施設名 (海津温泉)	6	5	8	行き (8 時台) 帰り (12 時台)
利用希望	下記番号 () あるいは施設名 ()				行き (時台) 帰り (時台)
利用希望	下記番号 () あるいは施設名 ()				行き (時台) 帰り (時台)

【①行き先の番号】（下記にない場合は、上記の欄に行きたい施設名をご記入ください）

市役所 : 1. 海津庁舎 2. 南郷庁舎 3. 平田庁舎

公共施設 : 4. 文化会館 5. 海津図書館・文化センター

6. その他の公共施設 ()

病院 : 7. 医師会病院 8. 大垣市民病院 9. その他の病院 ()

商業店舗 : 10. 生鮮館 11. ヨシツヤ 12. 一宮館

13. その他の店舗 ()

温泉 : 14. 海津温泉 15. 水晶の湯 16. その他の温泉 ()

市外 : 17. 大垣市 18. 岐阜市 19. 羽島市

20. 桑名市 21. 名古屋市 22. その他の市外 ()

【②利用目的】 1. 通勤 2. 通学 3. 買物・飲食 4. 通院

5. 公共施設利用 6. 趣味・娯楽・温泉 7. その他 ()

【③利用頻度】 1. 毎日 2. 週に5～6日 3. 週に3～4日

4. 週に1～2日 5. 月に2～3日 6. 月に1日以下

7. その他 ()

【④利用交通手段】（市外へ行きたい方は、市内分のみ選択）

養老鉄道 利用駅 1. 美濃津屋駅 2. 駒野駅 3. 美濃山崎駅 4. 石津駅

5. 美濃松山駅 6. その他の駅 ()

7. 名阪近鉄バス 8. 海津市コミュニティバス 9. その他 ()

今後の公共交通について

市内の公共交通は、年間約74万人（平成24年度、名阪近鉄バス除く）の人に利用され、通勤・通学や買物、通院などの移動にとって重要な役割を担っています。

運行経費は、利用者からの運賃のほか、国、県、沿線市の負担金や補助金でまかなわれています。海津市の費用負担は、鉄道が年間約 5,300 万円、バスが年間約 8,200 万円、合わせて約 1 億 3,500 万円であり、市民一人あたりにすると、年間約 3,580 円を負担していただいていることになります。

問9. 養老鉄道、名阪近鉄バス、コミュニティバスの運行については、どのように思われますか。(1つに○印)

- ① 市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき
- ② 現状の費用負担で運行を維持すべき
- ③ 利用者数を増やすことにより市の費用負担を少しでも減らし、運行を維持すべき
- ④ 利用者の負担を増やす（運賃の値上げ等）ことにより市の費用負担を少しでも減らし、運行を維持すべき
- ⑤ 運行本数等のサービスを縮小し、市の費用負担を減らすべき
- ⑥ 継続して運行する必要はない
- ⑦ わからない

問 10. 公共交通を維持するためには、数多くの方々が通勤、通学をはじめ、お出かけの際に公共交通を利用していただく必要があります。あなたは、公共交通の利用について、どのように思われますか。(1つに○印)

- ①現在も公共交通を利用している
②今は公共交通を利用していないが、将来は利用したいと思う
③今後、可能な範囲で公共交通を利用したいと思う
④今後も公共交通は利用しないと思う
⑤わからない
⑥その他（ ）

ご自身について

あなたのことについて、下表の中であてはまるものにお答えください。

(1つに○印あるいは()に記入)

(1) お住まいは	郵便番号 -
	海津市
	海津町 ① 高須地区 ② 吉里地区 ③ 東江地区 ④ 大江地区 ⑤ 西江地区
	平田町 ⑥ 今尾地区 ⑦ 海西地区 南濃町 ⑧ 下多度地区 ⑨ 城山地区 ⑩ 石津地区
(2) 性別は	① 男性 ② 女性
(3) 年齢は	① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代 ⑧ 80歳以上
(4) 職種は	① 会社員・公務員 ② 自営業 ③ 大学・専門学校生 ④ 高校生 ⑤ 専業主婦(夫) ⑥ パート・アルバイト ⑦ 無職 ⑧ その他()
(5) 自動車運転免許証は お持ちですか	① もっている ② もっていない
(6) 自分が自由に使える 自動車がありますか	① 世帯に共有の自動車がある ② 自分専用の自動車がある ③ 自動車はない
(7) 運転に不安を感じるよ うになったら、運転免許 証を自主返納しますか	① 自主返納する ② 自主返納しない ③ わからない

公共交通について、ご意見、ご要望などがありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストにご投函ください。

(市民ニーズ調査 自由意見)

01 バスのルート見直し、充実

意見	属性
養老鉄道は絶対に廃線にならないようにして欲しいと思います。家族の通勤、通学ができなくなると、引っ越しの必要が出てきます。利用者増となるよう、駅の整備や利用を考えて頂ければと思います。どの駅も暗いイメージです。駅を地区の発信地、活性化の場所となるようにすれば利用者も増えるのではないのでしょうか？コミュニティバスは羽島駅止まりですが、岐阜市までルートが伸びるとうれしいです。いつも思うことは、利用者数の割にバスの車体が大きすぎるように思います。経費削減のためにも、効率のよい運行をされたいかがでしょうか。	(石津・女・40代)
子供の通学時に必要なルートでバスが増えると助かります。利用者は少ないのかもしれませんが、ないととても困るのでコミュニティバスはずっと継続して運行して下さい。	(海西・女・40代)
大垣市内の高校へ直接行く通学バスを作った方がいい。例えば、平田便は、海西地区を出発し、今尾地区を経由し、大垣南→大垣工業→大垣東→大垣北へ向かうルート。帰りは、大垣駅を始発とする。平日の通学、塾の帰り、休日の部活動、安全に、かつ、費用の負担を軽減し、海津市の子供たちをバックアップしたほうがよいと考える。(一度、高校生の子供を持つ家庭にアンケートを取って見てもらいたい。)	(今尾・不明・50代)
若い人で車に乗っている人たちにもっと公共交通機関を使用してもらうために、主要商業部へ出るルートを充実整備すべきではなかろうか？この地区の人が行く主要都市は①大垣、②岐阜、③名古屋。 ①大垣ルートは名阪近鉄バスの使用を増やすため、補助券(半額以上)を月4回／1人まで申請した人名義で出す。(ただし、不正使用をなくすため、本人確認必須と《保険証、学生証、運転免許証》する。海津平田地区対象。 ②岐阜ルートは岐阜羽島まで行っているが、土日に使用できにくいので夜の便を行うべき。また、その他地方・大阪・東京に出るor帰ってくる時(特に日・土曜)必要なため、夜の便は必要である。 ③名古屋ルートが養老鉄道近くの人には良いが、それ以外の人は大変不便である(乗り継ぎの件で)。木曽三川公園～弥富駅は7km(車で10分弱)しか離れておらず、近鉄は本線のため便数も多く、15分で名古屋駅に着く。 又近くに大型ショッピングモールもあり、便が多ければ利用者も増えるのではないかと思います。	(今尾・男・50代)
コミュニティバスについて 巡回ルートが余分な所を廻り長すぎる。利用頻度の多い区間は余分な所を廻らず短時間で利用でき、本数を増やすと良い。	(石津・男・不明)
前述しましたが、飲み会などで名古屋から帰ってきたり大垣から帰ってきたりする時にバスなどが通っていたら電車での乗り換えや車での駐車や飲酒時の対応等も気にしなくていいので利用したいと思います。今の状態では何を利用するにしても不便すぎてとてもじゃないですが利用する気にはなりません。それから公共交通機関の情報(時刻表、ルート、利用方法、料金)などを市民にしっかり配布して分かりやすいようにして下さい。このアンケートが紙の無駄遣いにならないことを祈っています。	(西江・男・20代)
海津市コミュニティバスを利用しようと思ってもルートがわかりづらかったり海津橋東まで歩かないとバスがなかったりして利用しづらく思った。	(石津・女・60代)
予約バス、路線のルートに5人以上集まればむかえに来てくれるようなサービスがあればよいかな。	(城山・女・50代)
バスについての意見です。もっと皆が利用しやすいような運行ルートに変更したらどうかと思います。あと、各交通機関同士、運行時間をリンクさせて、待ち時間などを減らしたらよいかと思います。	(高須・男・40代)
自宅から駅まで遠いため、移動の為にタクシーや他の人の車に乗せて貰わないと	(今尾・男・20代)

意見	属性
電車に乗る事が出来ない為、駅までのバスが近くにあれば利用したい。又は自分の自転車で駅まで行っても駐車場が無い為、車が止められない。(月極はあるが日割り駐車場がない)ので駅までの移動手段に困る事が多い。	
今は家族がいて送迎してもらえますが、先の事はまだどのように回答してよいかわかりません。2人住まいです。石津駅から出発している羽島行のバスを境か松山にして頂くともう少し利用すると思います。石津からでは電車に乗り換えてでは不便と感じます。町でも隅の方では何かと不便です。	(石津・女・70代)
現在の通勤地、状況を考えると公共交通機関の利用は無理です。しかし、学生時代にはずっとお世話になっておりましたし、この先、車の運転が出来なくなった時も頼りにすると思います。養老鉄道の駅、各病院、市役所などに行けるバスが今後もあって欲しいです。ある程度の負担は仕方ないと思っています。	(高須・不明・40代)
名古屋へ出かける際に養老鉄道では時間がかかりすぎます。昔はあったそうですが、津島駅や勝幡駅など愛知県側の最寄り駅へ行くバスが欲しいです。	(高須・女・40代)
羽島に行きたくても松山からだとならば石津まで何かに乗らなくてはバスに乗れないので同じ南濃町の住民です。せめて松山の駅からバスを出して欲しいです。	(石津・女・60代)
公共交通を利用する為の詳しい利用指針がない。利用したい駅まで遠い(バスの利用の仕方がわからない)。	(高須・男・70代)
羽島駅を良く使うので、羽島駅への直行バスなどがあると助かります。	(海西・女・10代)
駒野駅に行くバスを運行して欲しい。送り迎えの車で狭い道路が危なくて仕方ない。	(高須・女・40代)
駒野駅からお千代保さんへ行くバスが月1~2回でもあるとよい。	(城山・女・70代)
自宅から駅まで自転車でも遠い。だからと言って車だと駐車場がなく不便。バス停は近いが最寄りの駅まで行かないコースなので利用しない。	(高須・女・20代)
イオンやヨーカドー、ヨシヅヤなどの商業施設にシャトルバス等が欲しい。地方自治体がバス運営は採算が取れないため企業にバスを走らせて貰えば良い。	(高須・男・30代)
自分で車を運転出来なくなった時に公共交通を利用する事になると思いますがバス停が遠いなど現時点ではなかなか気楽に利用するのは難しいかと思います。	(城山・女・50代)
自分家の近くにはバス停があるのですが、そこから羽島市の名鉄羽島行きがないので作って欲しいと思います。もしくは羽島だけでなく津島行きも作って欲しいです。	(東江・女・10代)
名古屋へ行く為に海津、津島線のバスを復活して欲しい。	(高須・女・不明)
バス路線を確保して欲しい。	(高須・男・50代)
愛西市へ行くバスが欲しい。	(大江・女・10代)
右回りとか左回りとかバスに書いてあるがよく分からない。不安なのでよほどの事がない限り人に聞いてまで乗りたくない。それなら歩いた方が良い。	(西江・女・60代)
市でバスを出すのではなく、低賃金でタクシーを高齢者又は障害者の方、主婦などに使用した方がよいと思う。バスは羽島とのバスのみにして、利用数に応じてバスを出すか決めるべき。無駄が多い。愛知県に行く人が多い為、バスは弥富か津島につくるべき	(西江・女・20代)
観光コースバス、主な観光地巡り等の運行	(石津・男・70代)
同居の母が高齢ですが、自家用車で通院している(本人運転)。本人が通院出来なくなると病院までのバスがあると便利だと思います。とみなり整形に通院されている方が不便を感じているような事を聞いています。	(高須・女・50代)
ヨシヅヤさんへも直通バスがありません。こちらへも行ってみたいと思います。	(城山・女・60代)
もし1人になった場合、買い物、病院が大変になると思います。その時にスーパーの前にバスがとまってくれたらと思います。	(今尾・女・60代)
名古屋まで乗り換えなしで行ける乗り物が欲しい。自分では運転して名古屋までいけない。バスがあればなおよい。	(西江・女・50代)
少し前大垣市民病院にバスで行きましたが、帰りのバスが(海津市役所行きは2時間待ちでした)平田までの便しかなく、仕方なく乗ったのですが、平田から暑	(高須・女・50代)

意見	属性
い中歩きで45分程かかり体もぐったりでもうバスはやめようと思いました。私の様な体験をした方、案外多いのでは。これから高齢者社会になっていく中、質問にもあったように免許証を返納できるような気持ちにさせて頂けるような市にしてもらいたいと願っています。市民の側に立った市政になることを望みます。	
運行路線の見直し。無人のバスをよく見かける。	(今尾・男・70代)
養老と名鉄が協力したバスがほしい。南濃→弥富(佐屋)	(石津・女・40代)
今のままの公共交通であれば転居も考え中で、大垣市民病院にバスで行けるようになれば良いと思います。	(城山・女・60代)
258号線を大垣から桑名までバスが走ってくれると嬉しい。気軽にイオンに行きたいです。	(石津・女・10代)
ヨシヅヤ、オークワ、ナフコ等もバスがあれば出かけたかったです。	(石津・女・60代)
32年前は津島までのバスがあり、年取ってからでもそれに乗って津島まで出て名古屋のデパートや科学館、ブランドバックのバーゲンにいけると思ったのに。海津温泉の市民の物を誰が売ってしまったのか。売った人の責任を取って貰いたい。	(高須・男・60代)
バスについて直行便を出して時間短縮すると帰りが早いので利用出来る。特に温泉の帰りは早い方が良い。南部だけで海津の方は温泉についてから次の便として回ると30分ぐらい車を動かさねばすむ。利用者はお年寄りの方でトイレ、体調などがあるので早く家に着くように考えてやると良い。病院などもあると良い。スーパーなども。路線を良く考えた方が良い。	(石津・男・40代)
養老鉄道のダイヤに合わせて各駅を出発する。	(石津・男・60代)
各養老鉄道の駅から海津市役所→海津温泉→医師会病院を巡回する。	(石津・男・60代)
海津羽島線の一部の時間帯で海津温泉、医師会病院がとばされているのを止まるようにして欲しい。	(大江・女・40代)
利用度合いの高い(時間帯、行き先)路線のみでよいのでは。	(今尾・男・60代)
3町別々でなく海津市内を一路線で廻れると買い物、温泉、病院参り等もっと利用出来る(乗り継ぎも悪く利用出来ない)	(石津・女・60代)
高齢化が一層進み公共交通機関の充実が重要である。しかし、交通機関を通勤通学など必要性だけで考えるのではなく、娯楽(買い物や行楽など)のツールとして捉えて考える事で、利用率も上がるのではないかと。又、名古屋などへの通勤者にとっては名鉄路線駅へのアクセスは出来ないのか。	(高須・男・50代)
運転出来なくなると一番困るのは買い物と病院です。海津市内のスーパーへのルートや大垣市内の大型商業施設や大垣駅、大垣市民病院などへの運行なども充実して頂きたいと思います。	(高須・女・50代)
私は通常お千代保稲荷線の利用者ですが、たまに羽島駅に行きたい時がありますが、停留所があるにも拘らず停車して貰えませんので大変不便です。(その停留所は野市場です)	(海西・女・70代)
海津庁舎を中心に考えるのではなく、駅を基本に路線を考えた方が良いと思う。駒野、羽島、大垣、津島など。	(高須・女・40代)
駅まで遠い。	(高須・女・10代)
駒野駅に行く路線があるといい。	(今尾・女・70代)
スーパー、駅まで早く行けるルートを作ってほしい。	(東江・女・60代)
まず、学生が羽島、大垣くらい便利に通学しやすく交通インフラを整えることをしないと、平田には鉄道がないし、ただでさえ人口流出して若い人がいなので、不便ではいけない。海津市役所など、建物ばかりつくるのではなく、鉄道はないが、子供や車を運転出来ない人でも住みやすい場所にしないといけない。人が住むと店が出来る、子供が住み、財政だつてうるおう。農業だけで、今の結果になっているのだから、市長やトップがもっと新しい考え方をしないといけないし、取り入れる必要がある。だいたい、役場が市の1番の会社なんておかしいでしょ。大きな会社を誘致できる輪之内を見習うべきだ。鉄道はないのに、人口が増えている。海津の良いところをアピールできるようにする。	(今尾・女・30代)

意見	属性
働く場所を増やして市を活性化すべき。とにかくここは自家用車がないと不便である。名古屋市の様に交通機関を使えばどこにでも行け、大型の店舗がある町にして貰いたい。市議員が役に立たない人ばかりでただの税金泥棒の様な人材が多いのではないかと。選挙以外で見たことがない。私から集めた税金で何もせずに金をもらっとる連中を排除すべきである。議員は公共交通や町について何を思っているのか。	(大江・男・50代)
津島へ行くのが欲しい。	(高須・男・40代)
大垣行きが少なく今尾発が毎時あるのに、帰りも今尾止まりが多くて雨の日は特に困ります。何とかして下さい。	(高須・女・70代)
発着地点を市役所に起点にしたらどうか。	(今尾・女・60代)
公共施設に限る。	(海西・男・40代)
スーパーの前での乗り降りが出来る事。	(城山・女・50代)
南濃から羽島や津島など東西をつなぐ路線があると便利です。	(石津・女・30代)
本数が海津市(庁舎)に片寄り過ぎ。	(城山・女・70代)
運行時間、行き先がホームページなどでも分かりにくい。利用したくても先ず動いている分が分かりにくいと思う。	(海西・男・30代)
利用者が極端に少ない。路線は見直し、利用者の多い羽島線などは充実させたい。	(海西・男・80歳以上)
目的地への連絡等よく分かりません(行き先が、経路が分かりにくい)	(大江・女・70代)
コースの見直しを考えて欲しい。	(高須・女・70代)
石津、羽島線なんか乗る機会がありません。市内をもっと走らせた方がいいと思います。石津、羽島なんか無意味です。	(不明)
イベント時等の臨時ダイヤ等を考えてみたらどうですか。今尾の左義長祭・チューリップ祭の期間・三川公園のイルミネーション(金・土・日)	(今尾・男・70代)
路線の見直し。	(不明・男・40代)
電車が駅に着いたらしばらくしたら海津町内へ向かうコミュニティバスがあると良い。電車所乗り降りを考慮せずにバスが運行されている場合があるので。	(西江・女・10代)
駒野駅までのコミュニティバスが充実していればもっと養老鉄道を利用して名古屋へのショッピングや観劇など楽しみやすくなるのではないかと思います。	(高須・女・40代)
南濃中学校がなくなり城南中学校になってから、多くの学生が養老鉄道を利用するようになると思います。鉄道だけではなく、美濃松山駅にも城南中行きのバス停を作るべきだと思います。(現状のコミュニティバスの利用者の少なさではなく確実に多くの利用者が見込まれる)	(石津・女・30代)
養鉄駅に行くのにコミュニティバスの本数がなく時間がかかる。	(今尾・男・40代)
コミュニティバスの羽島線を医師会病院から羽島駅までにしてほしい。	(大江・女・60代)
コミュニティバスについて コース変更により北部の方(石津地区)の方が出かけにくくなったと聞いた事があります。年配の方には大切な交通機関だと思いますので買い物やイベントなど出かけやすくなるような運行を考えて頂きたい。	(城山・女・40代)
現在の公共交通のコミュニティバスが海津市内に走っているようですが近隣の養老町へも走って欲しい。病院とか買い物に大変不便をしておりますのでご理解をお願いします。	(下多度・男・70代)
コミュニティバスを愛知県(佐屋、津島、弥富)などにも運行して欲しいです。	(大江・女・40代)
コミュニティバスについて、南濃町から海津市(海津温泉、医師会病院)には行けるけれども平田町に行くには途中で乗り換えなければならないので、市内(南濃→海津→平田)を一回りする便があればもっと便利になるのではないかと思います。	(城山・女・60代)
羽島行きのバスを石津だけでなく松山まで乗り入れてほしい(コミュニティバス)	(石津・男・20代)
近くに温泉がありますが車で行かなくてはならないためになかなか行けない状況です。コミュニティバス等で温泉地まで行けたらいいと思います。それに海津に住んでいるのに温泉代が少し高いように思います。1カ月に何日が安い日もあってはいいかと思います。	(高須・女・60代)

02 バスの増便、利便性向上

意見	属性
海津市コミュニティバスの「海津羽島線」の最終バスをもう1時間以上遅くすべきだと思う。平田の方（特に海西方面）で、輪之内、大垣方面への接続、バス路線を新しく増やし、つくるべきだと思う。コミュニティバスに限らず、運賃をある程度とるのはやむを得ないと思うので、多少高くても運行バスをつくるべき。	(海西・男・10代)
養老鉄道は車の乗れない人に絶対必要だと思いますが、駅まで出る公共交通時間が電車との時間が合わずとても不便です。特に帰りのバスに不便しています。その為車を利用し、バス、電車を利用しない。悪循環している事に気付いて欲しいと思います。これからは高齢者が増え、買い物、病院等公共乗物を利用する機会が増えます。車社会だけを考えないで車に乗れない人の為にも優しい海津になって欲しいと常々願っています。出来れば海津市内を走るだけではなく、名古屋市、津島市、弥富などに出かけられる様に1日何本だけでもバスを走らせて下さる様に松永市長、是非結果を出して頂ける様に期待しています。	(高須・男・30代)
子供やお年寄りが使えるよう、運行本数を増やすべきだと思います。交通手段が少なれば市の発展も有り得ないし、お年寄りは外出を諦める事もあると思います。特にコミュニティバスは、市内の電車の駅まであらゆる場所からいけるようにしてもらえると良いです。うちからは駒野が1番近いですが、駒野に行くバスはないので結果的に駅まで自家用車で行く事になります。とても不便なので利用しづらいのが正直な所です。私は自家用車で移動をする事が多いですが、それが出来ない方の目線に立って考えるべきではないかと思います。予算の事もあるので何とも言えませんが、学生や車を運転されない方に注目できたらと思います。	(吉里・女・40代)
コミュニティバスの羽島線、石津駅止まりを松山駅まで延長して頂けると出かける回数も増えてうれしい。図書館、ひまわり会館などで開催されている絵、体操などにも参加できる様に思います。JAの野菜が欲しいのですがバスで行けたらいいのにといつも思っています。お千代さんにも石津駅まで歩きか電車で行ってそこで時間を待って羽島駅行きに乗るのがネックになって気軽に行けません。	(石津・女・70代)
海津市の中で仕事をしている人は少なく、バスや電車を何度も乗り換えて通勤するのはとても大変だし、どうしても帰りが遅くなってしまうと結局車の方が便利だと思ってしまう。それなら、学生やお年寄りなど車が乗れない人達が利用し易いようにしてもらい、大きな病院には直接駅から行けるようにしたら利用者も増えるのではないかと思います。	(東江・女・20代)
公共交通でバスや電車を使っていないのですが、この海津市に大型スーパーとか人が増えて駅等利用客が増えるようにしていただくと住んでいる私たちが公共交通も使う回数が増えてくと思います。あまりにも田んぼや何もやっていない建物がそのまま放置状態なので、良いとは思えません。自動車があるからと言ってもかなり負担は大きいので、もっともっと利用がしやすくしていただきたいです。	(石津・女・30代)
駅（電車）が40分～50分時間で1本しかないと不便。最低でも30分以下の間隔だともっと利用する。南濃はタクシーを呼んでもなかなかきてくれない。バスと電車で大垣～桑名間の便数増をお願いします。市営タクシーがあるといい。	(石津・女・20代)
将来子供が電車を利用する事があると思うので駅までのバスや電車の本数を増やして欲しい。	(高須・男・20代)
私は自家用車を利用していますが、徒歩で移動される方は常に耳にする意見は電車とコミュニティバスとの連携をお願いしたいとの事です。市にも負担がかかりますが、高齢者時代に進化しつつありますので一層増加するであろう交通弱者に交通手段をお願いします。	(高須・女・60代)
もう少し電車の本数を増やして欲しい。でも公共交通のバスや電車が近くてとても便利です。	(石津・女・10代)
お千代保さんや水晶の湯にも電車の発着に合わせたバスを走らせれば観光客も増えないでしょうか（アピールしないといけませんが）やはり、ただバスを走らせるだけでは利用しないですよ。もっと利便性をアピールしないと。学生が利用し	(高須・男・40代)

意見	属性
やすいバスを走らせてほしいですね。	
海津市コミュニティバスはあんなに大型は必要ないと思う。マイクロバス程度にして便数を増やし、駅などへ運行してもらえば養老鉄道利用者も増えると思う。	(高須・男・40代)
自分自身、高校時代3年間、養老鉄道に大変お世話になりました。今は、自分の車ばかりで全く利用する時が少ないですが、3年間乗っていて思ったことは、やっぱり本数が少ないこと。今は、若干時間とか変わりましたが、今度さらに本数を増やしていただけると、利用される数もさらに増えると期待されます。	(城山・女・20代)
市バスも養老鉄道もなくなるのは困ります。老人一人では身動きが取れなくなる。今何とか一人で頑張っております。少々の負担増でも続けて欲しいと思います。	(城山・女・80歳以上)
私自身は運転免許を持っているため、自由に車で外出できますが近所の高齢者の方々、中学生、高校生などの学生にとっては養老鉄道やバスはとても大切な交通手段です。もう少し本数を増やして欲しいのはやまやまですが、現状ではそれがかなわないならば、せめて廃線にならないようにして下さい。	(城山・女・40代)
現在は自動車を運転して通勤や買い物に行っているが、何年後かに運転出来なくなった時、家に子供が同居していないのでどうしてもコミュニティバスに頼らざるを得ない。それには運行本数を増やして欲しいです。運賃は少々上がっても良いと思います。羽島や岐阜、大垣へ便利に行けるようになったら姉妹や子供の所へもっと頻繁に出かけられるのと思います。	(海西・女・60代)
4月から名古屋市の大学に通う事になり、海津市内のコミュニティバスを使って羽島市に行こうと考えています。しかし、バスの運行本数が少なく帰宅する時間(夜9時頃)にはもうバスがなくなってしまう困っています。現在の運賃(100円)は充分安いので、増額してもかまわないので、バスの本数を増やして頂けると有難いです。	(今尾・女・10代)
若い時は歩いて(45分の道のり)駅まで行っていたが、車の利用で年を重ねると1kmが(20分)限度。元気な時は、時間に余裕があれば今後利用していく予定である。目的地(市内)移動30分以内であれば利用者も増えるのでは。目的内容を把握し市内の移動の足となしてほしい。(コミュニティバス)	(城山・女・50代)
病院、駅に向かうコミュニティバスを増やすべきだと思う。無駄な行事などをやめ、そっちにお金を使うべきだと思う。たとえば市民運動会等。	(今尾・女・40代)
私は主人にかわって意見を述べます。主人は目が不自由ですので、よくバスの時間を考えて下さい。以前は遠回りせず、順調に医師会や一号館や大井耳鼻科などいけました。バスも寄り道せずに北から南へと動いていました。ただ海津温泉は、往復とも必ず通りました。今南濃庁舎は、駒野駅からこない時間があります。いたって坂のある所に住んでいる人の事も考えて下さい。すべての時間2～3分くらいですので、必ず南濃庁舎前へきて下さるようお願い致します。老人が増え、車が乗れない人が増えてきます。そうするともっとバスを利用して医者や買い物にもいけますのでよろしくお願い致します。	(城山・女・70代)
コミュニティバスの駒野駅の本数を増やしてほしい。連携をとってほしい。	(高須・女・10代)
家族の話を聞いても市役所と病院以外バスで行く所はないし魅力的な行きたい場所はない。仕方なく義務だからという形が多いが、これは必需だから大切にすべきだが、他はなるべく軽視し、無駄を減らすべきである。車以上の利便性が確保できない以上バスは減らすしかない。車の駐車場を駅周辺に作れば、鉄道は利用が増えるかもしれない。今の状態では自転車しかろくに停められないので学生頼みになっている。家族の送迎がないと鉄道もろくに使えたものではない。ガソリン代でなんとかなるなら、駐車料金一回分ですむし、駐車場のある県外市外の駅に行く。往復料金を取る科料のディスアドバンテージが多すぎる。	(城山・男・20代)
新羽島駅行きと駒野駅行きのバスがもう少し多く運行されれば、利用する機会が大幅に増えます。	(高須・男・10代)
石津駅行きの新羽島駅からのバスの本数を増やして欲しい。特に4時以降は1時間に1本ほしいです。(17:20の市バス)	(海西・女・10代)

意見	属性
利用者が少ない気がする。今後高齢者が増加しバスなどを利用していくと思われるので、もっと生活に密着した所に停留所をつくる。それとも養老町のオンデマンドバスのような方法にするか。	(高須・女・40代)
名阪近鉄バスの本数を増やして欲しい。	(高須・女・40代)
コミュニティバスは大きくて立派なバスだがいつも殆ど乗っていない。そんな路線は本数を減らすか路線の見直し、又は小さなワゴンに変える等を検討して欲しい。学生さん達がもっと利用出来る様、学校へ行くバスの帰りのバスの本数をもっと増やし子供達が利用しやすくする。子供達は未来の日本を背負っていく子供です。もっと応援する為に価値ある税金をうまく使って欲しいです。	(石津・女・40代)
コミュニティバスは使い勝手が悪い(本数が少ない)。経路が悪い(羽島行とかヨシズヤ行)を増やして欲しい。	(今尾・男・40代)
高齢化が進みもっと必要性が高くなる。コミュニティバスの増便も必要(昼)。	(大江・男・50代)
コミュニティバスが2時間に1本しか無い。意味が分からない。利用者数が少なすぎるからそうなのか、費用が足りないからそうなのか、これだけ少ないと利用したいと考える人は増えないと思う。これだけ公共交通機関が不便だと、自動車を持っている人は、全く利用しないだろう。利用者が少ないから本数を減らすという考えは間違っているのかもしれない。もっと自動車に乗れない人の事を考えた運行にすべきだと思う。市民にとって不便なものを動かし続けることが、税金の無駄!	(城山・女・20代)
コミュニティバスの増便を願っています。土日はやむを得ないと思っています。	(今尾・女・70代)
コミュニティバスの本数を増やしてほしいです。	(石津・女・10代)
コミュニティバスの石津ー羽島、羽島発22:00台を増便してほしい(土、日)	(海西・女・50代)
コミュニティバスの運行本数を増やして欲しい。	(石津・男・70代)
今後の老人増加もあり、買い物、通院、温泉などもっと利用出来る様コミュニティバスの充実を願います。	(石津・女・60代)
コミュニティバスの運行表(コース、時間等)を毎月発行の市報海津にチラシとして配布してもらえると、ある程度利用者が増加すると思う。(PR不足)	(石津・男・60代)
海津市に来る前は雪などが降ったら公共交通を利用していました。バスも5分間隔で来る所だった為。海津市に来て不便だと思いますし雪の日はバスが運休になる事にもビックリしました。一度バスを利用しようと思ったのですが行きに乗れるバスは1本ありましたが帰りに乗れるバスがなかった為利用出来ませんでした。朝夕の本数を増やして欲しいです。	(城山・女・30代)
公共交通の利用者数を増やしたいのであれば公共交通を魅力のあるものにしなければ。普段必要ない人は絶対に使用しないと思います。普段の利用とは異なりますが、バスにキャラクターを用いるなどすれば子連れの利用者は増えるように感じますが。	(石津・女・30代)
バスの便数を増やして欲しい。	(高須・女・30代)
母が病気がちで車に乗れなくて、買い物に行きたい時など、スーパーマーケットの近く(もしくは入り口近くまで)で乗り降りが出来たらもっと外出する機会も増え気持ち的にも前向きになれると思います。たまに無謀な運転をするバスもあります。なるべく安全運転心がけて頂きたい。	(下多度・男・20代)
小さなバスを本数増やすのも良いのではないかな。	(西江・女・40代)
日中はほとんど空で走っているコミュニティバス自体の運行内容を考慮して市民の利用目的に合わせて負担が増えても便利で利用する方法を考えてみてはどうかと思います。	(吉里・女・70代)
現状では、バスを利用したくても、目的地へ行く本数が、とても少なく2時間に1本の状況では利用したくても出来ない。時間に合うことも少なく、利用できない。今後本数が増えるとスイミングや習い事などで子供たちだけでも利用できる状況になると親の負担も軽くなり有り難く思います。今後の公共交通にとっても期待します。	(今尾・女・40代)